



中之島まちみらいビジョン

2023年3月



一般社団法人
中之島まちみらい協議会
Nakanoshima Future City Planning Council

目次

はじめに 中之島まちみらいビジョンの位置づけ	2		
第1章 現状分析と今後見込まれる変化	3	第3章 重点施策と取組アイデア	20
1. 現状分析	4	1. まちと水辺の界隈性創出	21
(1)現状分析		重点施策① 歩行者ネットワークの形成	
(2)取組状況		重点施策② 水辺を生かした空間づくり	
2. 施設整備計画および今後見込まれる変化	10	2. クリエイティビティの共創によるエリア活性化	28
(1)新たな施設整備と歩行者ネットワーク		重点施策③ アートを核とした都市活動の展開	
(2)広域での中之島の位置づけ		重点施策④ クリエイティビティのネットワーク化	
3. 地域特性によるゾーン分け	12	3. グローバル視点での魅力向上	31
(1)ゾーン分けのポイント		重点施策⑤ 都市型MICE機能の強化	
(2)各ゾーンの特性		重点施策⑥ 国内外におけるシティプロモーションの実施	
第2章 エリアの方向性	15	4. ビジネスと居住を支える都市インフラ整備	33
1. 中之島全体で共有するエリアの方向性	16	重点施策⑦ ICTを活用したスマートアイランドの実現	
2. エリア方向性実現に向けた4つの目標と8つの重点施策	17	重点施策⑧ エリアコミュニティの醸成	
3. ゾーンコンセプト	18	第4章 ロードマップ	40

はじめに 中之島まちみらいビジョンの位置づけ

はじめに

中之島は、江戸時代以降、経済はもちろん、文化や教育でも先進的な取組を重ね、大阪の中心として繁栄してきました。現在でもオフィスビルや風格ある歴史的建築物、文化施設などが集積しています。また、2050年を目標とする「グランドデザイン・大阪」（2012年 大阪府・大阪市）においては、水辺の魅力を感じることでできる特別な場所として、「水都大阪のシンボル」と位置付けられています。

2016年には、世界からビジネスや人材を誘引するため、「外国企業等を呼び込むための地域戦略」（大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域都市再生緊急整備協議会（中之島地域部会））を定め、MICEをはじめとする国際的ビジネス環境整備や大阪中之島美術館の整備など、都市機能の充実や官民での取組が進められてきました。

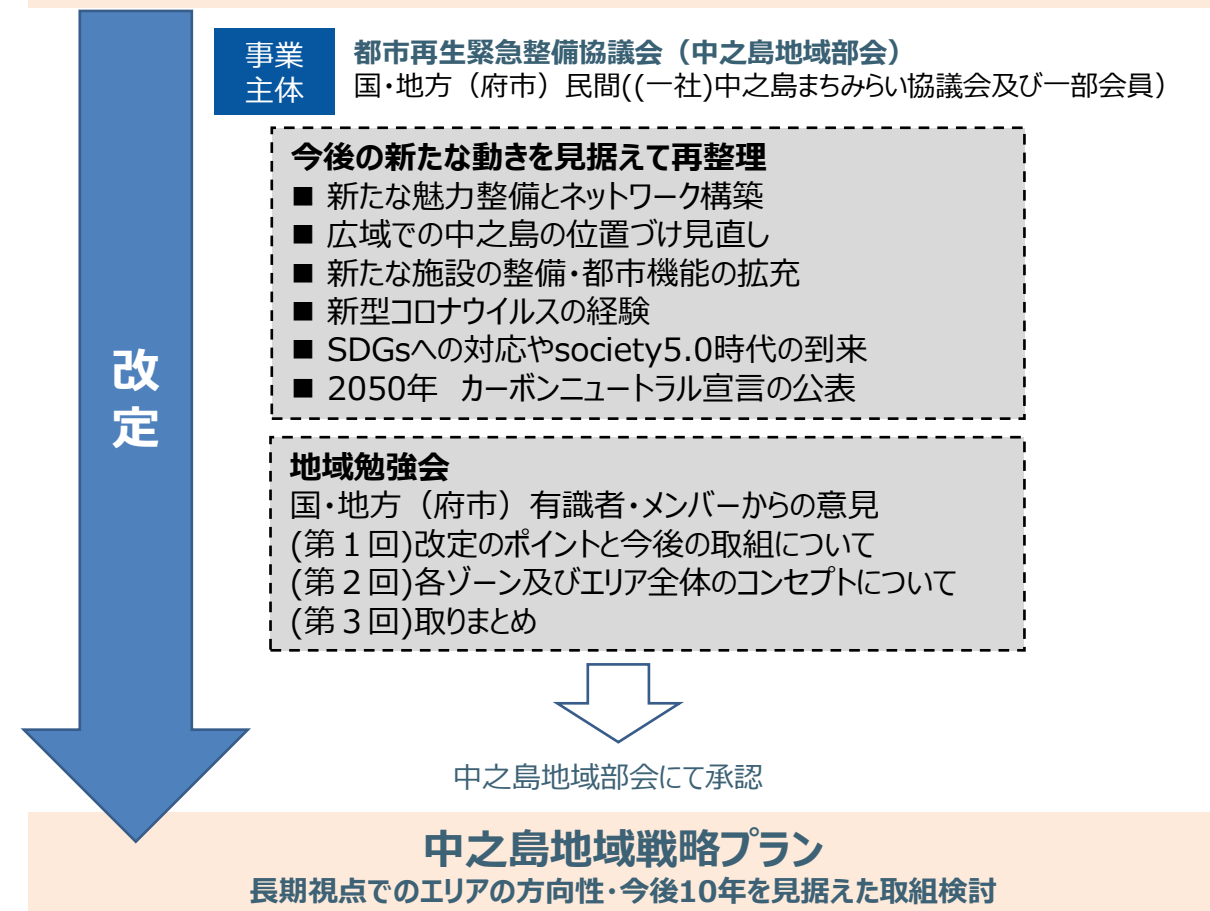
一方、近年では、なにわ筋線の事業化や未来医療国際拠点の整備決定など、さらなる動きが具体化し、中之島西部を中心に居住人口の増加も進んでいます。大阪府全体では、大阪・関西万博の開催をはじめ、国際的な魅力創造に向けた取組も進んでいます。

こうしたエリア内外の動きを、中之島の魅力と活力に結び付けていくためには、取組を関係者で共有する必要があります。このため、「官民連携都市再生推進事業制度」を活用して検討し、2021年9月に中之島地域部会において、「外国企業等を呼び込むための地域戦略」を「中之島地域戦略プラン」へと改定することが承認されました。国際的な業務・文化・芸術・交流拠点を形成する「水都大阪のシンボルアイランド」として、官民が連携し未利用地の土地利用転換を図りながら、持続的に活力を生み出していくための基盤となるプランを目指しています。

この「中之島まちみらいビジョン」は、上記「中之島地域戦略プラン」を策定するにあたり、国・地方（府市）・有識者・民間（まちみらい協議会及び一部会員）で実施した「地域勉強会」での議論を踏まえて中之島まちみらい協議会が取りまとめたものです。これまで、中之島まちみらい協議会では、社会環境の変化に合わせて、都市ビジョンを策定してきました。今回策定した「中之島まちみらいビジョン」、および「中之島地域戦略プラン」をもとに、この中之島を「水都大阪のシンボルアイランド 中之島」として、今後、周辺地域とも連携を図りながらエリア全体の魅力を高め、人々のクリエイティブ・ライフを支えるまちの実現を目指します。

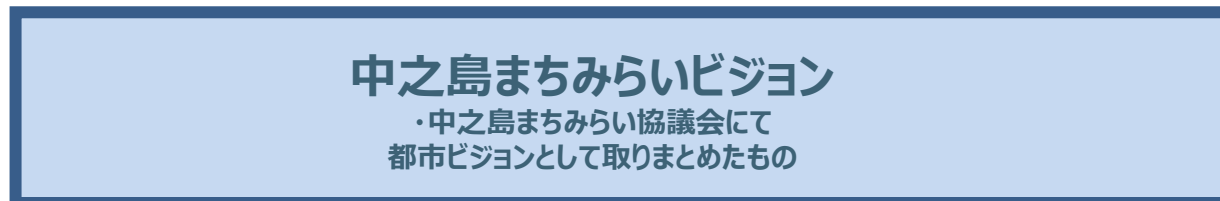
中之島地域戦略プランの位置づけについて

外国企業等を呼び込むための地域戦略（2016年）



中之島まちみらいビジョンの位置づけについて

「中之島地域戦略プラン」を参考に、(一社)中之島まちみらい協議会
独自で都市ビジョンとして取りまとめたもの



第1章

現状分析と今後見込まれる変化

1. 現状分析 (1)中之島の現状

①中之島の歴史：大阪・日本の経済・文化・行政の中心地

■蔵屋敷が軒を連ねた江戸時代以降、経済だけでなく、文化や教育でも先進的な取組を重ね、大阪の中心地として繁栄してきた。

<p>江戸</p> <p>各藩の蔵屋敷が軒を連ねる 物流と金融の中心地</p> <p>川からモノだけでなく、ヒト・チエ・情報 が結集し、大阪商人たちの新しい 仕掛けが生まれる</p>	<p>明治</p> <p>大阪初の公園、近代教育の最先端 をいく府立中学校が立地する 文化拠点</p> <p>最先端の近代教育を担う府立大阪 中学校や大阪初のピアガーデンも 持つ豊かな都市公園など時代の先 をいく都市機能が生まれる</p>	<p>大正</p> <p>モダンな洋風建築群の建築</p> <p>大阪市庁舎や大阪市中央公会堂を はじめ、モダンで重厚な低層建 築が立ち並ぶ</p>	<p>昭和</p> <p>「歩いて楽しい中之島」の原型が誕生</p> <p>公園や大阪市中央公会堂、学校、 各種クラブ、近代的なオフィスが混 在し、子供から大人まで多くの人々 が中之島を散策するようになる</p>	<p>平成</p> <p>「水都大阪」再生のシンボル</p> <p>府・市・経済団体が「水都」をテー マに新たな取組を開始し、遊歩道 や船着き場の整備、中之島公園の 再整備、中之島線の開通などが 進展する</p>
--	--	---	---	---

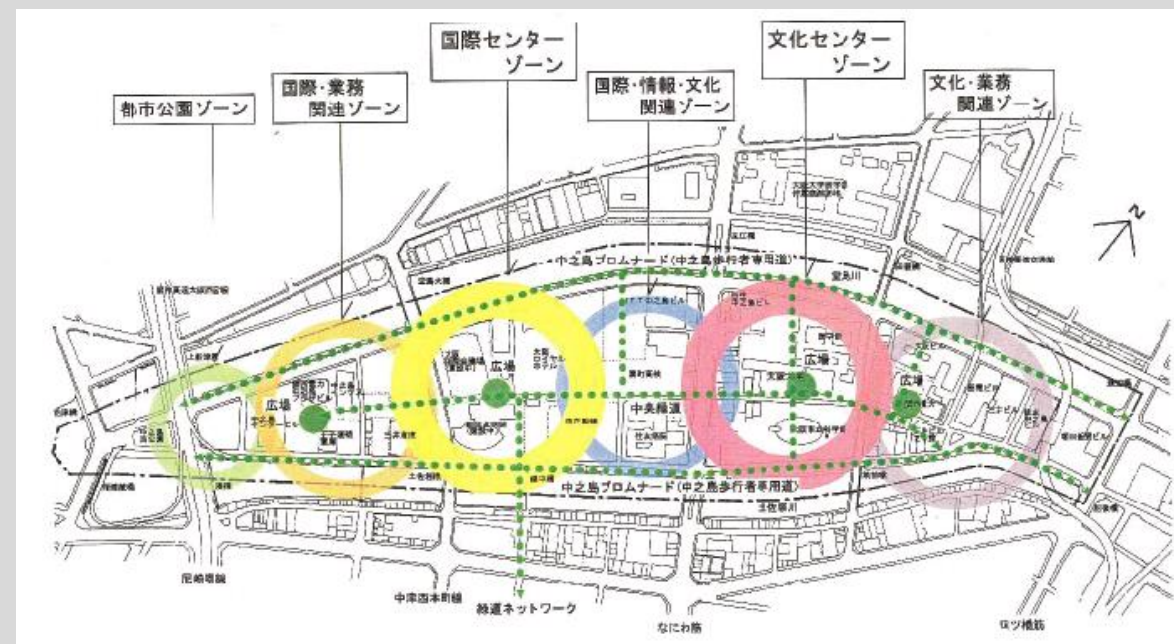
中之島スタイル.com HP「中之島の歴史」より概要まとめ、平成についてはヒアリングに基づき作成

②「水都大阪のシンボルアイランド」としての位置づけ

■歴史だけでなく、現在でも風格ある歴史的建築物、文化施設などが集積しており、水辺の魅力を感じることもできる場所として、水都大阪のシンボルアイランドと位置付けられている。

参考 大阪市総合計画審議会(1988年)

1988年の大阪市総合計画審議会において、中之島は「シンボルアイランド」と位置づけられ、土地利用区分や中央緑道の考え方が提示される。



参考 グランドデザイン・大阪(2012年)

2012年に大阪府・大阪市で取りまとめた「グランドデザイン・大阪」(2050年を目標とする大都市・大阪の都市空間の姿を示したもの)において、中之島は、「水都大阪のシンボルアイランド」と位置づけられる。

<短・中期>

- ▶ 水都大阪のシンボルアイランド化
 - ・ライトアップの時間延長
 - ・中之島緑道の回遊性向上
 - ・水・みどり・光を活かす歩行者ネットワークづくり
- ▶ 中之島西部地域の魅力向上
 - ・中之島4・5丁目のにぎわいの創出
 - ・国際会議場の活用
 - ・歴史的建築物の再生、活用

<長期>

- ▶ 鉄道アクセスの強化
 - ・京阪中之島線の延伸

1. 現状分析 (1)中之島の現状

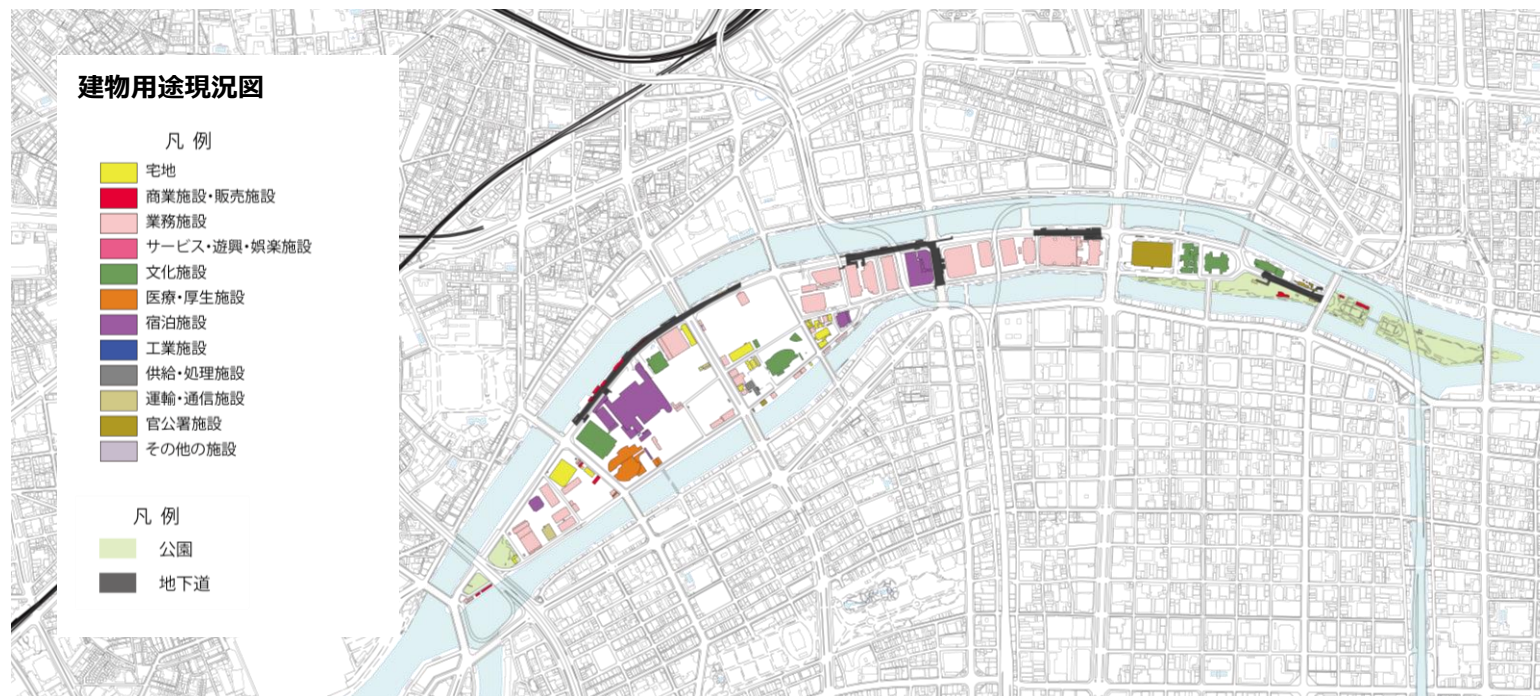
③土地利用：水辺を生かした都市開発

- 淀川の分流である堂島川と土佐堀川に挟まれ、水辺の魅力を感じることで約50haの区域である。
- 「都市再生緊急整備地域」および「特定都市再生緊急整備地域」に指定されており、低利用地の土地利用の転換や、快適な歩行者空間の充実・拡充を図りながら、水辺空間の利用や水辺景観に配慮した都市開発が進められている。

中之島地区の土地利用概況

区域面積	約 50ha
施設総床面積（2014年）	約150万㎡
未利用容積（更地、駐車場等未利用地）	約 60万㎡

土地利用状況調査、固定資産税課税台帳及びGISデータから独自に調査



参考文献) 建物用途現況調査 (H29年大阪市)

④景観形成：大阪市景観計画における中之島の位置付け

- 大阪市景観計画では中之島は「重点届出区域（中之島地区）」に指定されており、建築物や屋外広告物について重点的な景観誘導が行われている。また一部の公共施設が「景観重要公共施設」に指定されており、公共施設の整備や占有についても景観的な配慮がなされている。

○重点届出区域（中之島地区）
中之島全域、土佐堀川及び堂島川・大川（天満橋～船津橋・葉立蔵橋）

○景観重要公共施設
中之島公園、土佐堀川、堂島川、大川（一部）



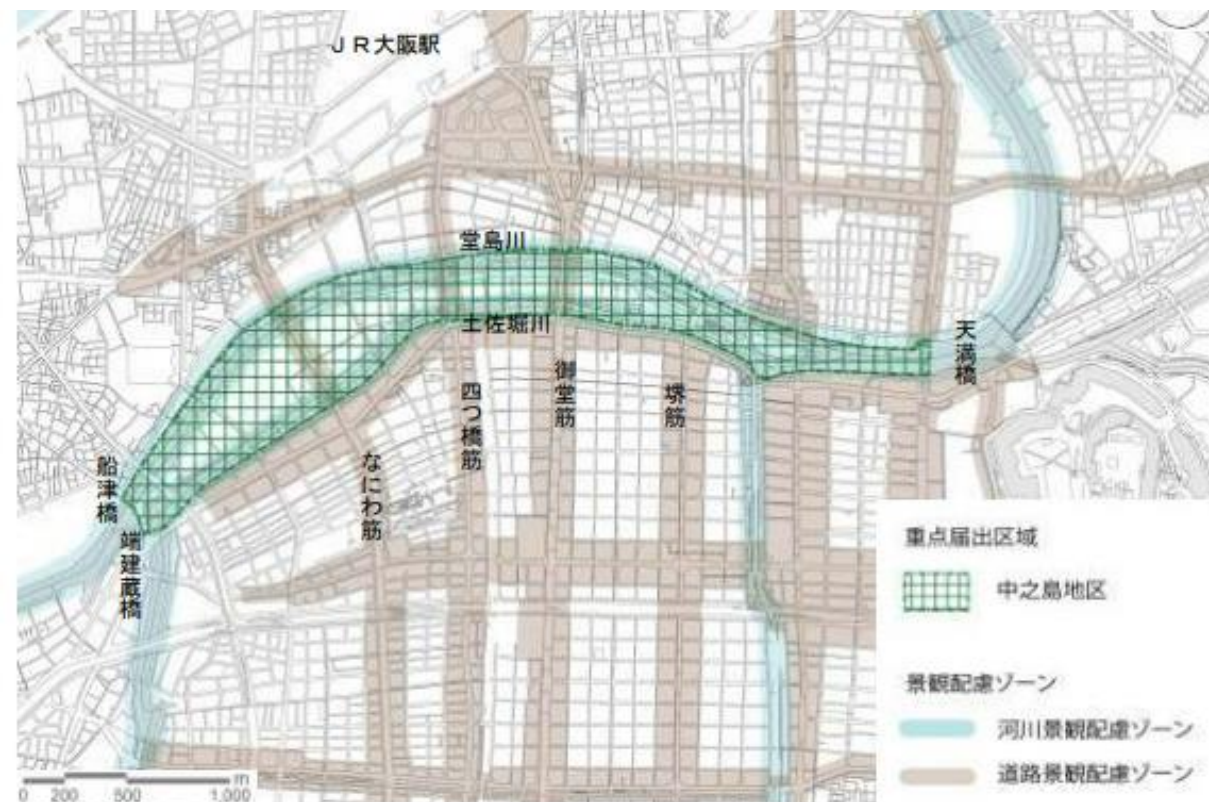
中之島公園



堂島川・大川（一部）



土佐堀川



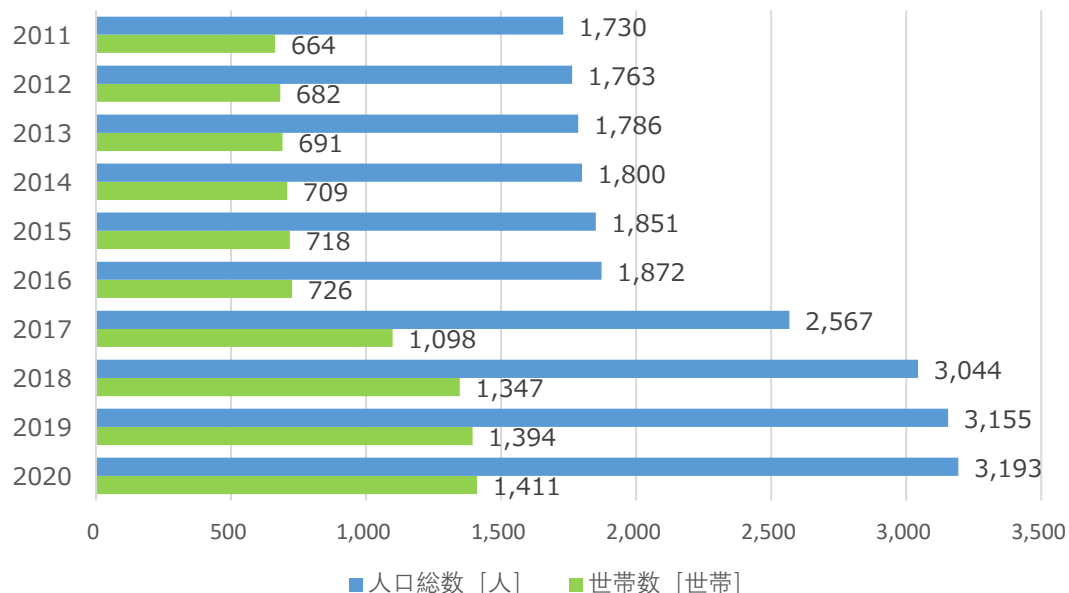
参考文献) 大阪市景観計画(2020年3月変更)

1. 現状分析 (1)中之島の現状

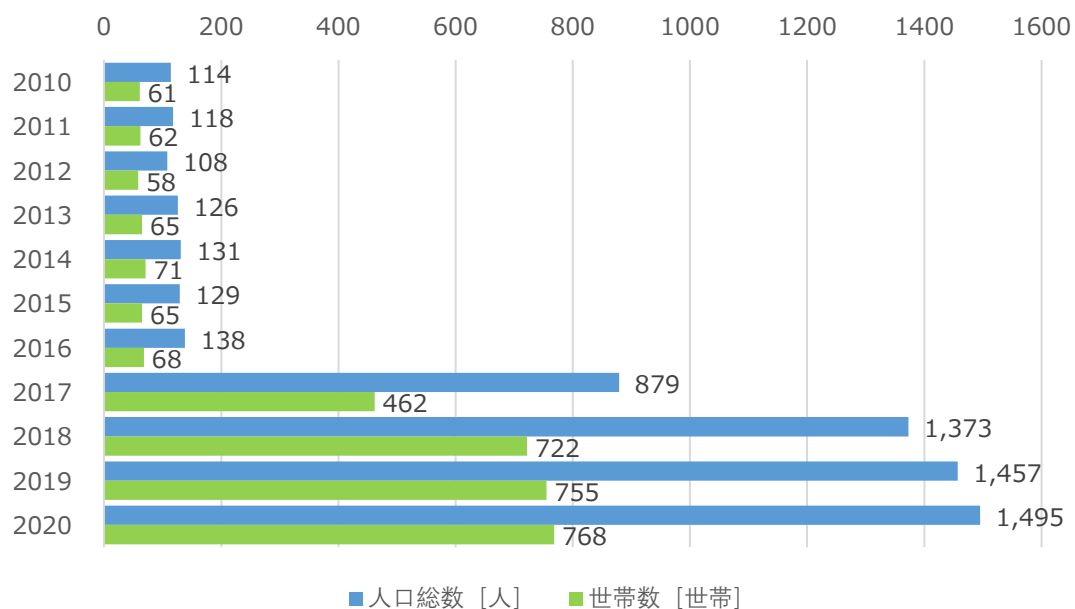
⑤人口：近年、居住人口が増加

■ 近年は、オフィスワーカーを中心とする昼間人口だけでなく、6丁目を中心に高層の集合住宅が開発されたこともあり、夜間人口の増加が顕著になっている。

中之島の人口・世帯数の変化



中之島6丁目の人口・世帯数の変化



(データ) 大阪市 住民基本台帳人口・外国人人口及び (一社)まちみらい協議会調べ
 (注) 各年度末(3月末)時点での人口・世帯数を抽出。
 ただし、2020年は調査時点の最新データである2020年9月末時点。

■ 2020年10月に発表された「SUUMO住んでいる街 実感調査2020 関西版」では、各項目で上位にランクインし、魅力が評価されている。

■ また、路線価も上昇を続けている。

[参考1] 住んでいる街 実感調査2020 (SUUMO)

○住民に愛されている街(駅)ランキング

- 1位 苦楽園口
- 2位 **中之島**
- 3位 甲陽園

○今後発展しそうと感じる街(駅)ランキング

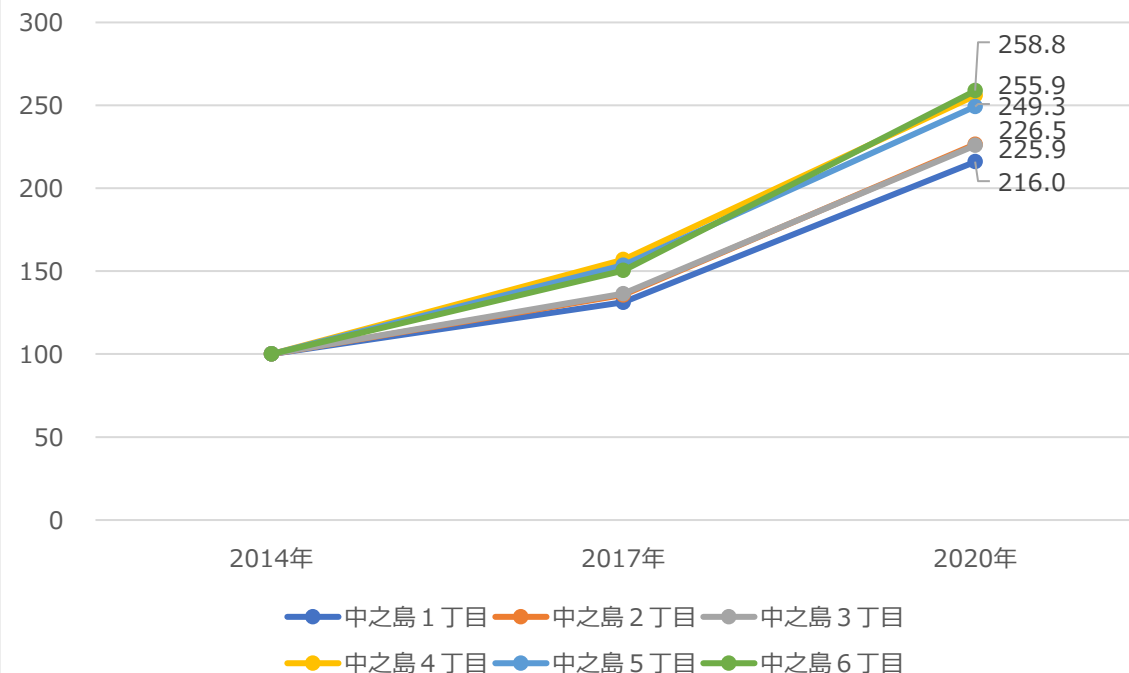
- 1位 新福島
- 2位 福島
- 3位 **中之島**

◆中之島の魅力項目TOP5

1. 今後発展しそう
2. カルチャーを感じる店がある
3. 美術館などの文化施設が充実している
4. テニスコートや体育館などの運動施設が充実している
5. 病院や診療所、介護施設が充実している

[参考2] 路線価

中之島 路線価の伸び (2014年を100とした場合)



出典) 国税庁HP路線価図より数値を抽出し分析

1. 現状分析 (2) 取組状況

① 地域戦略に基づく取組状況：公民での着実な積み重ね

- 2016年に策定した「外国企業等を呼び込むための地域戦略」に基づき、歴史・文化や快適な水辺環境を生かした多様な国際交流エリアの実現に向け、官民で着実にまちづくりに取り組んでいる。
- 一方、なにわ筋線の事業決定や新規施設の整備など、新たに考慮すべきまちの動きが生じているため、今後の取組について改めて検討が必要である。

外国企業等を呼び込むための地域戦略	現状	関連する構想・計画・取組等	新たな視点
【ビジョン】 グローバルな企業、人材、情報を集積させるため、地域に蓄積した歴史、文化と快適で美しい水辺の都市環境を活かした多様な国際交流エリアを整備		・環境先進都市(2005・中之島まちみらい協議会) ・魅力活力創造都市(2008・中之島まちみらい協議会) ・中之島まちづくり構想 (2013～・中之島まちみらい協議会)	
【1 国際的ビジネス環境整備】 (1)グローバル企業に選ばれる国際交流エリアの整備を促進 ①国際的な都市型MICE拠点としての機能強化 ②グローバル&ハイエンド人材の確保 ③歩行者ネットワークの充実などの都市環境の整備 ④環境や安全・安心に配慮した持続的なまちの運営を実現	①大阪府立国際会議場リニューアル (2020) ②未来医療国際拠点の整備 (2024春開業予定) ③中之島3丁目四季の丘から大阪中之島美術館、国立国際美術館への歩行者デッキ整備 (2022年2月整備) ④都市再生安全確保計画にもとづくエリア防災の活動 (継続中) 河川水利用地域冷暖房システム等の先進的新・省エネルギー技術導入の推進 (2・3丁目からのネットワーク延伸中)	・大阪におけるMICE推進方針 (2017・大阪MICE推進委員会) ・中之島地域 都市再生安全確保計画 (2016・中之島地域部会) ・中之島環境ビジョン(2010・中之島eco2連絡協議会) ・Smart Future Island NAKANOSHIMA (2017・中之島まちみらい協議会)	新規施設の整備および計画が進行中
(2)外国人の移動・情報・滞在・居住環境の整備 ①サイン案内板の整備 ②広域交通ネットワークの早期形成 ③外国人が長期滞在できる環境の整備	②なにわ筋線の事業認可 (2031春開業予定) ③ザ・パークハウス中之島タワーの整備 (2017)		なにわ筋線の事業決定 居住者の増加
【2 シティセールス】 (1)プロモーション・ツールの整備 ①HP・情報誌・パンフレット等の整備によりPR ②都市模型の制作 (2)国内外におけるシティセールスの展開 ①国内外の展示会等への出展 ②エリア発の国際的イベントの実施 ③中之島地域への企業誘致体制の整備	・大阪大学中之島センターのアゴラ構想による改修計画 (2023) ・MIPIM JAPAN -ASIA PACIFICにおけるシティセールス (2016)	・中之島アゴラ構想 (2016・大阪大学) ・クリエイティブ・アイランド中之島 (2020～・クリエイティブアイランド中之島実行委員会)	
【3 都市機能の充実】 (1)中之島フェスティバルタワー・ウエスト (2)新しい美術館の整備	・中之島フェスティバルタワー・ウエストの開業 (2017) ・こども本の森 中之島の開業 (2020) ・大阪中之島美術館の整備 (2022年2月開館) ・新駅の整備 (2031年春予定) ・小中一貫校(2024年度開校予定)		新規施設の整備・開業 新駅整備の決定 居住者の増加

地域戦略と地域の変化の擦り合わせが必要

1. 現状分析 (2) 取組状況

(参考) まちみらい協議会等による民間のビジョン：都市機能の整備が進む中で、ビジョンの位置づけが変容し、機能を生かす戦略の重要性が高まる

(中之島を取り巻く社会環境)

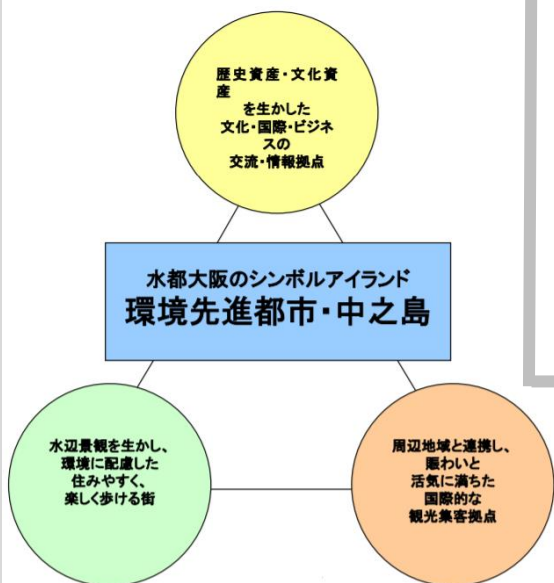


(ビジョンの位置づけ)



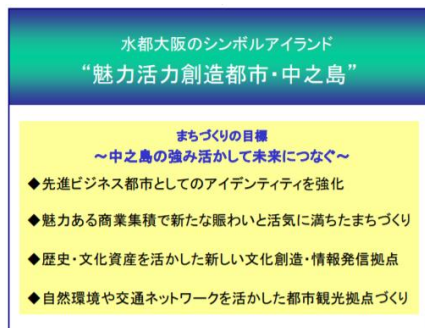
2005 大阪中之島の都市ビジョン

中之島新線開通に向けた工事等が進む中、都市再生に向けた都市ビジョンを取りまとめ



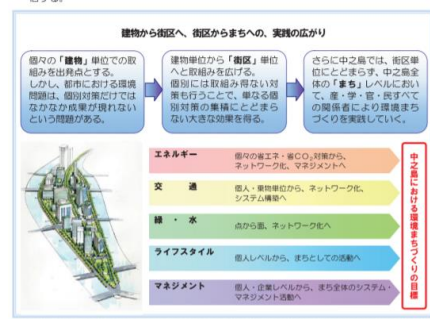
2008 中之島の都市ビジョンの実現に向けて

ビジョン実現に向けた目標やアクションプランを策定



2010 中之島環境ビジョン

環境先進都市・中之島としての取組に向けた方針や内容を策定



2013 中之島まちづくり構想

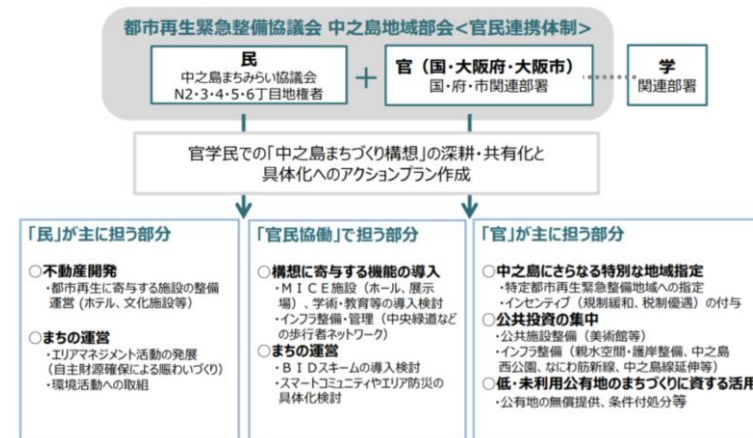
これまでの方向性に基づきながら、残された整備課題、社会環境の変化を踏まえた、まちづくり活動の実施に向けた構想を策定

中之島の都市機能ゾーニング [2013年策定]



2017 中之島まちづくり構想改定版

美術館やなにわ筋線など開発の動きの活性化を踏まえた構想の改定。官民連携を強化、実現に向け協働



1. 現状分析 (2) 取組状況

② 主なエリア活動主体

一般社団法人中之島まちみらい協議会

- [設立] 2004年
2020年5月に一般社団法人化
- [目的] 1. 官民協力し、検討区域内の都市再生やシティプロモーションに資する取り組みの検討および実施
2. 地区活性化に資するタウンマネジメントのあり方の検討および実施
3. 中之島地区と周辺地域との連携強化を図る方策の検討および実施
4. 地区内開発計画に関わる諸協議調整
- [構成] 中之島の民間地権者等28社／団体

- [主な活動]
魅力あふれる街づくりに向けた「中之島の将来の都市像」、交通インフラの整備や文化・情報機能の集積にもとづく「都市インフラのあり方」、サイン計画やWEBによる情報発信を通して「中之島ブランド」の確立をめざした「シティプロモーション」など、今後開発整備が進展し、様々な都市機能が充実する中で、親水空間を活かした賑わい性あふれるまちづくり「水都大阪のシンボルアイランド-中之島」再生に向けた様々な活動検討を展開

中之島連合振興町会

- [目的] 中之島の住民同士の交流や親睦を深めるための町会
- [構成] 中之島居住者
- [主な活動]
地域の年中行事の開催（4月 お花見会、夏休み ラジオ体操、8月 堂島川での精霊流し、10月 観月会、12月 おもちつき、「サンタ de 夜回り」など）、住民アンケートや要望等も実施

中之島ウエスト・エリアプロモーション連絡会

- [設立] 2012年
- [目的] 中之島2丁目から6丁目、福島1丁目から2丁目及び周辺企業を対象とし、本エリアの個性化と魅力向上と共に、新たなファンづくりを目指した官民協働によるプロモーション活動を実施
- [構成] 上記エリアの地権者等（オブザーバーとして行政や団体等も参画）
- [主な活動]
エリアの新たなファンづくり（四季を彩る“中之島ウエストものがたり、大阪・光の饗宴との連携）、地域交流・活動の推進（地域との連携による地域貢献活動の実施）、関係者の交流促進（情報交換会及び勉強会）

水都大阪コンソーシアム

- [設立] 2017年
- [目的] 大阪府・市・経済界が「水と光の首都大阪の実現」に向けて取り組み、水都大阪のさらなる成長を目指す公民共通のプラットフォーム
※「水都大阪パートナーズ」の活動（2013～2016年）を継承
- [構成] 経済界（大商・関経連・同友会）、行政（大阪府・大阪市）、大阪観光局、舟運団体、学識者
- [主な活動]
水辺の利活用や空間づくり、船着き場の整備や護岸や橋梁のライトアップなど水辺の生活を活気ある賑やかな場へと再生するためのさまざまな試みを展開

クリエイティブアイランド中之島実行委員会

- [設立] 2019年
- [目的] 文化と経済の両輪による持続可能な都市のリブランディングによって、ニューノーマル時代にふさわしい、“世界中の人々が訪れ集うクリエイティブなまち中之島”を目指す
- [構成] 国際会議場、大阪大学、中之島に拠点を置く文化施設等
- [主な活動]
国内最大規模の創造ネットワーク組織として、中之島エリア全体をユニークベニューとしての「創造的な研究所」に見立て、様々なクリエイティブコンテンツを開発・創出

2. 今後見込まれる変化 (1)新たな魅力整備とネットワーク

新たな施設整備

- 教育：小中一貫校（2024年度開校予定）（6丁目）
- 文化：大阪中之島美術館（2022年2月開館）（4丁目）
大阪大学中之島センター改修（2023春完了予定）（4丁目）
- 産業：未来医療国際拠点（2024春開業予定）（4丁目）
- 交通：なにわ筋線新駅（2031春開業予定）（4・5丁目）



大阪中之島美術館



未来医療国際拠点



小中一貫校
※イメージパースは基本設計段階のものです

ネットワークの変化

建物用途現況図

出典：建物用途現況調査 (H29年大阪市)

凡例

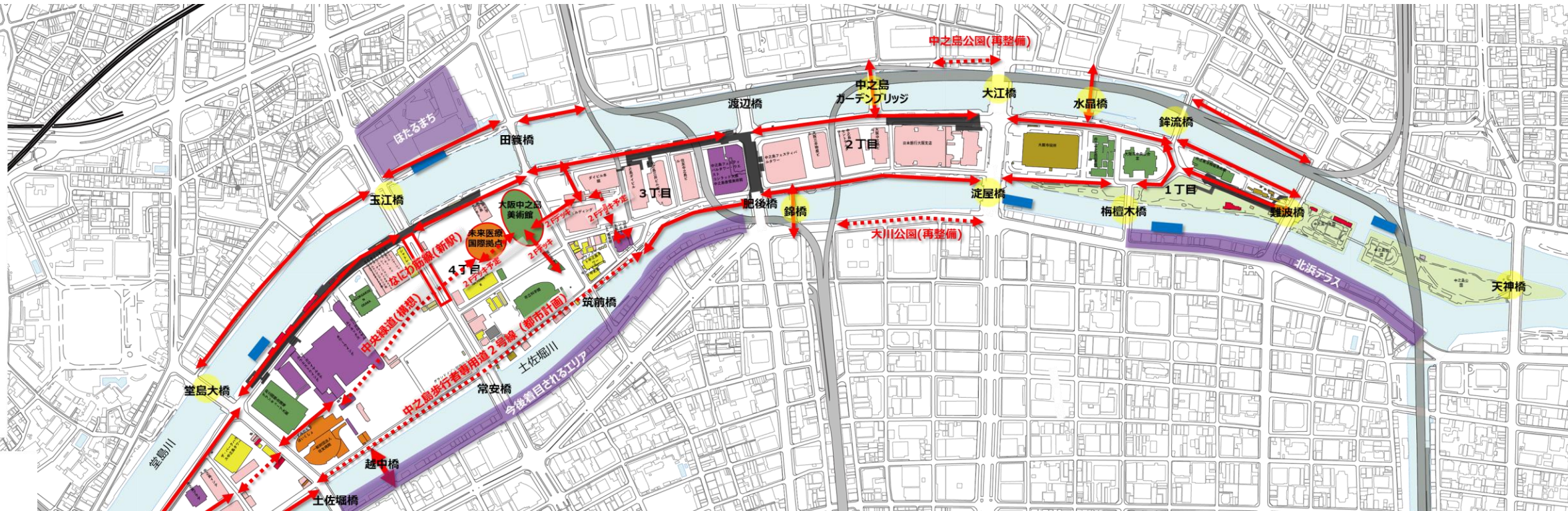
- 宅地
- 商業施設・販売施設
- 業務施設
- サービス・遊興・娯楽施設
- 文化施設
- 医療・厚生施設
- 宿泊施設
- 工業施設
- 供給・処理施設
- 運輸・通信施設
- 官公署施設
- その他の施設

凡例

- 公園
- 地下道

凡例

- 歩行者専用遊歩道・橋
- 歩行者空間化を計画/検討中もしくは可能性あり
- 対岸の着目エリア
- 船着場・舟寄場
- 橋



歩行者ネットワークに関する当面の主要な動き

- 1丁目
 - ・「こども本の森 中之島」の開業(2020年7月)
 - ・歩行者の増大を踏まえ、中之島通りの歩行者空間化
- 4・5丁目
 - ・大阪中之島美術館の開業(2022年2月)に伴い、歩行者デッキやスロープが延伸



こども本の森 中之島



歩行者空間化(公園化)の整備がせられた大阪市中央公会堂前

2. 今後見込まれる変化 (2) 広域での中之島の位置づけ

アクセス改善による変化

■ なにわ筋線の開通により、関西国際空港や新大阪駅とのアクセスが大幅に改善し、国内外における中之島の位置づけを向上させる可能性がある。

● 広域交通ネットワークの整備とアクセス改善

〈なにわ筋線について〉

北梅田駅(仮称)とJR難波駅及び南海本線新今宮駅をつなぐ新たな鉄道路線
利用見込み・・・約24万人/日

〈中之島エリアに期待される効果〉 関西国際空港及び新大阪駅への アクセスが大幅に改善

- ・国内外からの来訪者の利便性向上が見込まれ、来訪増に結び付けるための取組が求められる。
- ・また、コンベンション機能の利便性も高まるため、MICE機能についても更なる可能性が広がる。

大阪のキタとミナミをつなぐ中間点 世界とつながる動きとの連動

- ・関西を代表する大繁華街の中間点になる。
- ・大阪・関西万博や夢洲の開発計画とも連動した世界とつながる魅力づくりも重要となる。



出典) なにわ筋線事業計画に係る都市計画素案説明会資料 (H31,3大阪市、関西高速鉄道株式会社) より作成

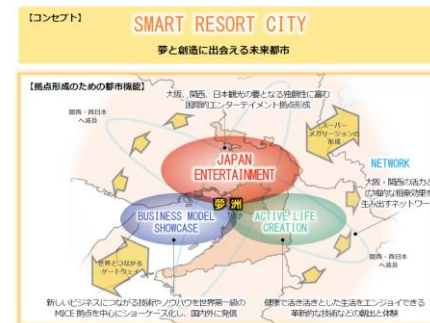
参考 夢洲における国際観光拠点の形成に向けたまちづくり

夢洲を核としたグローバルな交流が加速すると、

- 水都大阪の海からの玄関口
- 大規模集客拠点をつなぐ東西軸と水の回廊の結節点

としての中之島エリアの魅力強化が重要になる。

04 国際観光拠点「夢洲」のコンセプト



06 夢洲がつなぐネットワーク

大阪・関西の活力と広域的な相乗効果を生み出すネットワーク

〈考え方・ならい〉

- 新たに国際観光拠点を形成する効果を臨海部～西日本と広く波及させ、関西・西日本全体の活性化につなげる
- 国際観光拠点の形成に向けて3つの都市機能を集積させることにより、夢洲のみならず、それらの相乗効果や波及効果を臨海部～西日本と広く波及させ、関西・西日本全体の活性化につなげる
- 関西の様々なエリアの魅力ある情報や英知に富んだ技術などを結集
- 大阪市場に限らず、関西圏(大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県)の情報や技術を結集させ、魅力的な国際観光拠点を形成する。



図 都心と臨海部の連携強化による国際競争力の向上



図 瀬戸内との連携イメージ

出典) 夢洲まちづくり構想(2017年 夢洲まちづくり構想検討会)より関係部分抜粋

参考 新型コロナウイルス感染症の経験(2020～)

■ 新型コロナウイルスの経験により、都心でありながら屋外環境に恵まれた中之島の環境が見直される可能性がある。

〈足下の魅力や需要の見つめ直し〉

新型コロナウイルス感染症の影響により、オフィスワーカーや広域来訪者だけでなく、近隣からの来訪者の存在や屋外空間の魅力を含めたまちの日常の魅力の重要性が再認識される。



出典) 中之島スタイル.com

〈過ごしやすい環境を持つ都心の新たな可能性〉

テレワークやリモート会議などが一気に普及し、長時間の通勤は当たり前と認識されなくなっている傾向がある。

こうした中、都心でありながら快適な環境を持つエリアで、職住を近接させた新たな働き方・暮らし方を模索するニーズが高まる可能性がある。



出典) 中之島スタイル.com

3. 地域特性によるゾーン分け (1) ゾーン分けのポイント

ゾーン分けのポイント

①現状の空間構成要素および機能・用途により分類

・東西に長い中之島エリアは、各ゾーンで機能・空間の特性がある。その特性に応じて、A～Dの4つのゾーンを設定する。

②周辺のエリアと連動した4つのゾーンを設定

- ・中之島エリアは、中之島だけで完結しているのではなく、南北の人の流れが強く、周辺のエリアと連動し成立している。
- ・そのため、中之島内だけでなく、対岸も含めて目指す姿を考える必要がある。

③誘導機能だけではなく、今後そのエリアで生み出したいシーンを検討

・ゾーンごとの目指すシーンを設定し、その実現のために必要な機能・取組を考える。



3. 地域特性によるゾーン分け (2)各ゾーンの特性

各ゾーンの特性 (空間構成要素)

■ 東西に広がる各ゾーンの特色を空間要素で整理し、過ごす印象、生まれるシーンと統合的なゾーンコンセプトを検討する。

		Aゾーン	Bゾーン	Cゾーン	Dゾーン
空間構成要素	区画	両河川の間隔が狭い (街区が小さい)	両河川の間隔が広い (街区が大きい)	両河川の間隔が狭い (街区が小さい)	
	川の特徴	海と川の結節点		川	
	公園	中之島西公園			中之島公園・中之島バラ園
	遊歩道	両岸に遊歩道	北側の川岸に遊歩道	両岸に遊歩道	遊歩道有り・歩行者空間が大半を占める
	中央緑道	今後整備	一部整備済み		
	河川への視線の抜け	遊歩道・建物から視線が抜ける			GLレベルで視線が抜ける
	歴史的建築物	[対岸]川口旧居留地跡	リバーサイドビルディング中之島	日本銀行大阪支店	大阪市役所・大阪市中央公会堂・中之島図書館
	剣先 (島の端部)	公園			公園・噴水
	歩行者空間	[検討] 歩行者空間化	[検討] 歩行者空間化		歩行者空間が大半を占める 大阪市中央公会堂周辺の歩行者空間化
	水辺空間の活用	[対岸]中之島GATE・中之島ゲートパーク (ざこばの朝市・水上レストラン・公園)	中之島BANKS・NORTHSHORE 【検討】河川沿いに未活用地有り [対岸]スーパー堤防 (ほたるまち)		GARB Weeks・R [対岸]北浜テラス [対岸]八軒家浜

中之島地区の景観形成方針のイメージ



中之島西部

中之島東部

配置基準 (歩行者空間) のイメージ



緑豊かな歩行者空間を創出する

抜粋) 大阪市景観計画(2020年3月)

3. 地域特性によるゾーン分け (2)各ゾーンの特性

各ゾーンの特性 (機能・用途)

- 各ゾーンで特色ある機能が存在し、歴史的にはそれらが融合しながら次の活力を生む基盤となっている。
- 中之島エリアのトータルコンセプトは、これらの機能の融合を表現しつつ、各ゾーンでは、特色ある機能が前面に出るよう検討する。

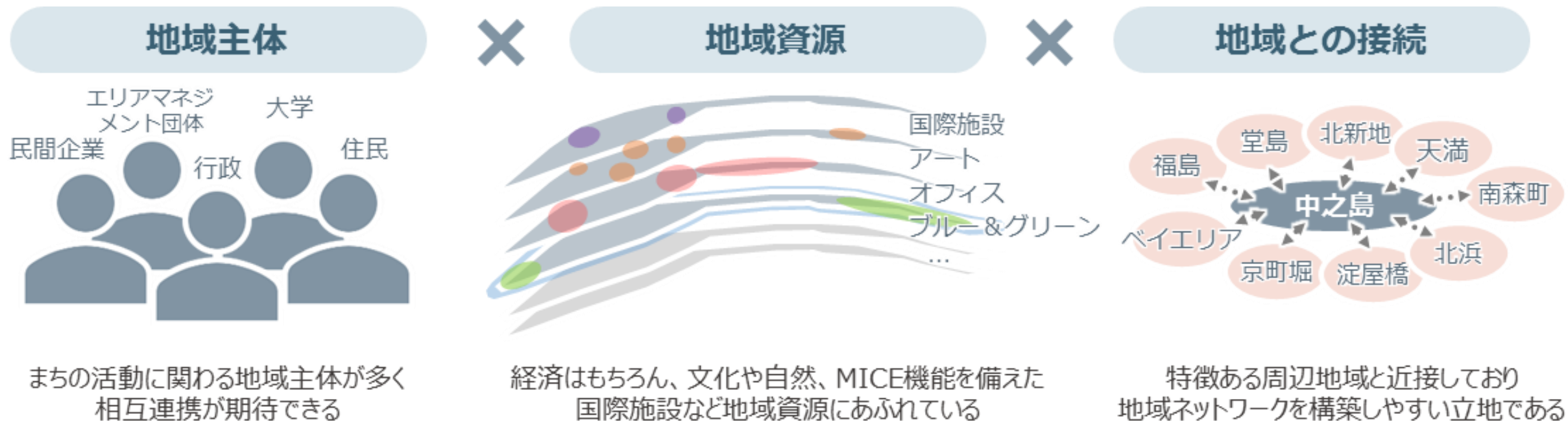
		Aゾーン	Bゾーン	Cゾーン	Dゾーン	
機能・用途	開発	小中一貫校(2024春)	大阪中之島美術館(2022) 中之島センター改修(2023) 国際医療拠点(2024) なにわ筋線新駅(2031春) 市有地・民間敷地で今後開発予定の土地が有り			
	混在度	用途の混在				
	駅		中之島駅・なにわ筋線新駅	渡辺橋・大江橋駅	なにわ橋駅	
	水上交通の要所	〔対岸〕海の駅・中央卸売市場前港	大阪国際会議場前船着場 〔対岸〕ほたるまち港	〔対岸〕淀屋橋港	ローズポート 〔対岸〕八軒家浜・キタハマミズム (舟着場)	
	広域連携		関空・新大阪からのアクセス(予定)			
	ビジネス	関西を代表する経済団体 (関西経済連合会・関西経済同友会等)	ビジネスが点在	ビジネスの集積		
	居住	居住				
	宿泊施設	中之島プラザ・ホテルNCB	リーガロイヤルホテル	三井ガーデンホテル大阪プレミア コンラッド大阪		
	美術館・文化施設		国立国際美術館・市立科学館 大阪中之島美術館・graf 〔ほたるまち〕堂島リバーフォーラム ABCホール	中之島香雪美術館 フェスティバルホール	市立東洋陶磁美術館 中之島図書館 こども本の森 中之島 大阪市中央公会堂・アートエリアB1	
	教育・研究	小中一貫校	国際医療拠点 大阪大学中之島センター			
	MICE		大阪国際会議場			
食	〔対岸〕中央卸売市場					

第2章

エリアの方向性

1. 中之島全体で共有するエリアの方向性

多彩な要素が複層するエリア



水都大阪のシンボルアイランド 中之島
～ビジネス・文化・自然の融合が生み出すクリエイティブ・ライフ～

新たな機能集積や空間形成が、中之島の地域資源である自然と融合し、
多様なものを結び付け、人々の感性を刺激しながら、新たな価値を生み出していく

2. エリアの方向性実現に向けた4つの目標と8つの重点施策

水都大阪のシンボルアイランド 中之島

～ビジネス・文化・自然の融合が生み出すクリエイティブ・ライフ～

目標1

まちと水辺の 界索性創出

水辺の魅力を最大限生かす景観形成やヒューマンスケールの空間づくり・活用を通じ、回遊の楽しいエリアを創出する

重点施策

歩行者ネットワークの形成

水辺を生かした空間づくり

目標2

クリエイティブ性の 共創によるエリア活性化

既にある資源に加え、新たな動きを生かし、個別ではなくエリア全体の魅力創出に結び付けるエリア運営に取り組む

重点施策

アートを核とした
都市活動の展開

クリエイティブ性の
ネットワーク化

目標3

グローバル視点での 魅力向上

国際的な役割を果たす施設の増加や広域からのアクセス改善を見据え、グローバルな視点での魅力づくりを加速する

重点施策

都市型MICE機能の強化

国内外におけるシティ
プロモーションの実施

目標4

ビジネスと居住を支える 都市インフラ整備

ビジネス街としての基盤に加え、新たに増加する生活者の視点や都心居住へのニーズを踏まえた都市インフラを実現する

重点施策

ICTを活用した
スマートアイランドの実現

エリアコミュニティの醸成

各ゾーンのコンセプトへ展開

3. ゾーンコンセプト

Aゾーン

コンセプト

「コミュニティ」と「ライフスタイル」を育む リバーフロント

中之島西端に位置する海と川の結節点として、食や夜間景観の魅力に満ち、教育環境も整った豊かな水辺の暮らしが味わえるエリア

ターゲット

新規施設関連来街者

- ・小中学生及びファミリー

今後呼び込みたいターゲット

- ・感度の高いファミリー・アクティブシニア
- ・国際色豊かなファミリー
- ・小規模デザインオフィスで働くクリエイティブ層
- ・旅行客（インバウンド）

生み出したいシーン



水辺景観を楽しむディナー



臨海部とつながる水上交通



水辺での憩いのひと時



休日のピクニック

Bゾーン

コンセプト

「アート」と「多文化」を巡る交流の場

目的地となり得る多様な用途が集積し、対岸を含めた回遊を楽しむことのできるエリア
国際色豊かな様々な文化が生み出す彩りを感じる空間

ターゲット

新規施設関連来街者

- ・病院関係者・医療系研究者
- ・アートに関心のある来街者

今後呼び込みたいターゲット

- ・起業マインドある若手
- ・感度の高い若者・アクティブシニア・お洒落OL
- ・小規模デザインオフィス・周辺のオフィスワーカー

生み出したいシーン



アート鑑賞



国際会議や展示会の開催



都市ににじみ出すアート



中之島遊歩道の散歩

3. ゾーンコンセプト

Cゾーン

コンセプト

「働く」と「楽しむ」が重なるビジネスフィールド

オフィス機能が集積しながらも、憩いを感じさせる親水性ある空間が近接し、潤いのある時間と豊かな日常が誘発されるビジネスエリア

ターゲット

今後呼び込みたいターゲット

- ・屋外空間を生かした働き方をする人々
- ・職種や組織を超えた出合いや協働を取り込んだ働き方を志向するワーカー

生み出したいシーン



水辺景観を楽しむランチ



緑に囲まれたオフィス環境



開放的な空間でのワーク



ビジネスコミュニケーション

Dゾーン

コンセプト

「探究」と「余暇」を楽しむパブリックスペース

文化を感じさせる歴史ある施設が連なるなかで、緑と水辺の自然が一体的となって、豊かな寛ぎを可能にするパブリックスペース

ターゲット

今後呼び込みたいターゲット

- ・対岸エリア居住者
- ・旅行者
- ・水上スポーツの参加者
- ・子育て家族

生み出したいシーン



若者たちのストリートライブ



パブリックスペースを活かしたアート活動



イベントの開催



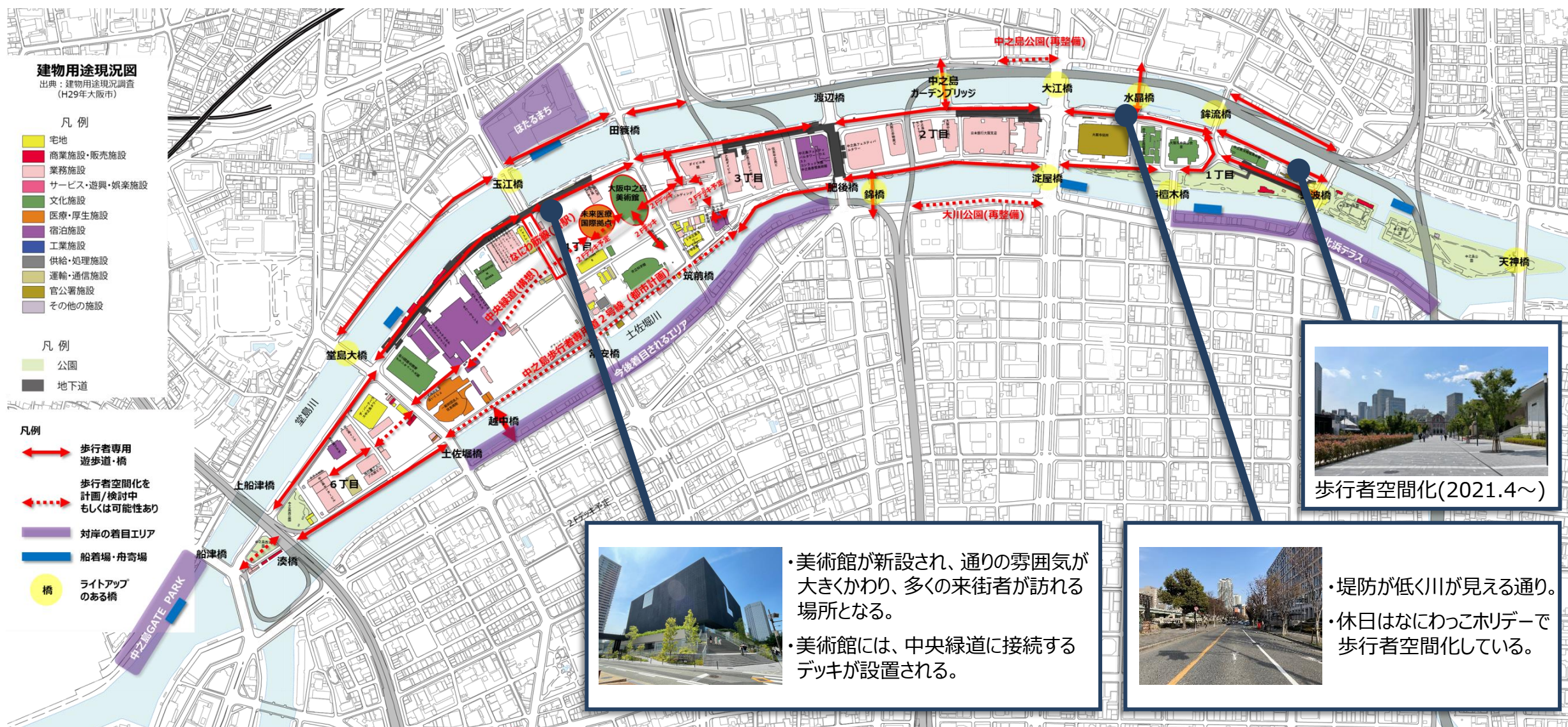
水上スポーツの大会開催

第3章

重点施策と取組アイデア

1. 重点施策(1)：歩行者ネットワークの形成

課題：歩行者ネットワークが未整備な部分があり、島内回遊や界索性を創出する仕組みが完成していない



- 美術館が新設され、通りの雰囲気が大きく変わり、多くの来街者が訪れる場所となる。
- 美術館には、中央緑道に接続するデッキが設置される。

- 堤防が低く川が見える通り。
- 休日はなにわっこホリデーで歩行者空間化している。

- 遊歩道
- 遊歩道につながるデッキ
- 大阪市中央公会堂周辺
- 中之島公園
- 大阪市役所前の川沿い



- 魅力ある歩行者ネットワークの整備により、中之島を東西に快適かつ安全に回遊できる仕組みを構築する。
- 周辺エリアへのアクセスも容易にし、来街者の誘発により、エリアの活性化を図る。

1. 重点施策（1）：歩行者ネットワークの形成

取組アイデア

① 沿道のにぎわいづくり

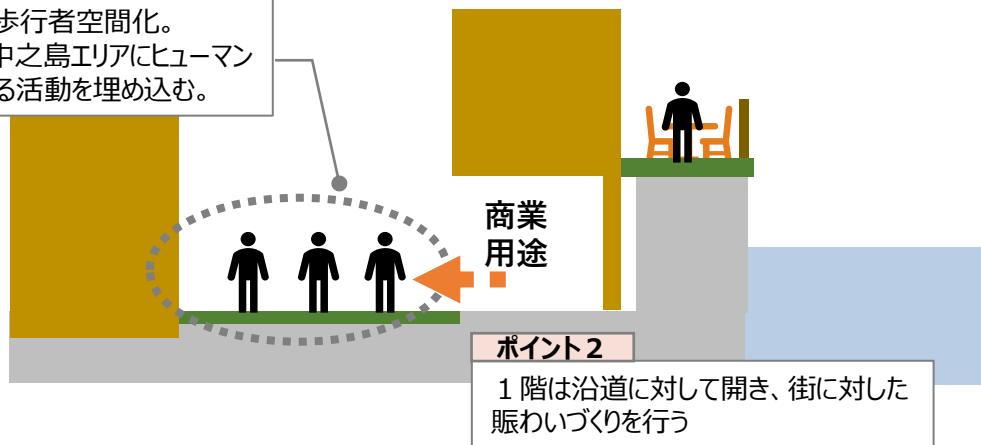
- ・現在は沿道に対して閉じている施設も多く、賑わいの創出が乏しい。
- ・沿道のにぎわいづくりのために、1階部分に商業施設など多くの人が訪れる用途を誘致する。
- ・民地の公共空間の開き方のガイドラインを作成する。

重点施策

〔想定事業主〕 公民連携
 〔想定整備時期〕 中期～
 〔取組方法〕 道路整備、民間の施設開発整備や店舗導入時に実現化を目指す

ポイント1

車道の一部を歩行者空間化。区画の大きい中之島エリアにヒューマンスケールを感じる活動を埋め込む。



ポイント2

1階は沿道に対して開き、街に向けた賑わいづくりを行う

参考 中之島地区 道路景観配慮ゾーン

〈景観形成方針〉

● 歩いて楽しいにぎわいを感じるまちなみ景観の形成

- ・通りと建築物の関係が親密で歩いて楽しいにぎわいのあるまちなみ景観を形成する。
- ・道路からの見え方に配慮し、屋外広告物を地区の良好なまちなみの形成に資するものとし、建築物と屋外広告物とが調和した、沿道のまちなみ景観を形成する。

● 通りに沿った見通し景観の形成

- ・見通しのよい空間である特性をいかし、建築物の連続性や前面道路と建築物との調和に配慮した眺望景観を形成する。

〈景観形成基準〉

● 建築物配置

建築物の連続性の見通し景観に配慮するとともに、接道部に空地を設け、快適な歩行者空間の確保又は緑化に努める。

● 外壁

景観上主要な道路からの見通し景観を意識して、沿道のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫する。

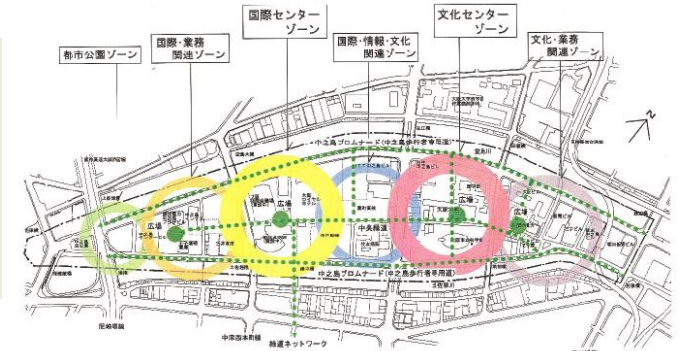
参考文献) 大阪市景観計画(2020年3月変更)

② 中央緑道との建物の接続ガイドライン

- ・中央緑道が一部整備されており、今後も整備が徐々に進む予定。
- ・従来より共有されている「中央緑道」の概念を活用。
- ・各建物が緑道に対して積極的に開く仕掛けをガイドライン等で検討。
- ・大規模な目抜き通りのような位置づけでなく、裏路地も含めながら、中之島らしい一貫した印象を共有できる仕掛けを加えていくことで、大きな公共空間がなくても回遊性や界索性を創出することを目指す。

重点施策

〔想定事業主体〕 公民連携
 〔想定整備時期〕 中期～
 〔取組方法〕 中央線沿いの開発の際に実現化を目指す



③ 遊歩道からのアクセス

- ・外周歩道を散策する人を各施設へ誘う仕掛けを設け、相互連携を創出。
- ・中之島の外周を囲む遊歩道から、建物へ直接アプローチするデッキを徐々に創出していき、水辺へのアクセスを改善する。

重点施策

〔想定事業主体〕 公民連携
 〔想定整備時期〕 中期～
 〔取組方法〕 道路整備、民間の施設開発整備や店舗導入時に実現化を目指す

④ 歩行者空間化の拡大

- ・安心安全にランニングできる空間を広げ、中之島の賑わいを拡張していく。
- ・地上レベルでも歩行者専用空間を拡大し、歩いて楽しいまちづくりを行う。

〔想定事業主体〕 公共
 〔想定整備時期〕 中期～
 〔取組方法〕 道路の交通量や周辺開発を見据えて、回遊ネットワークに効果のあるルートを選定し具現化を図る



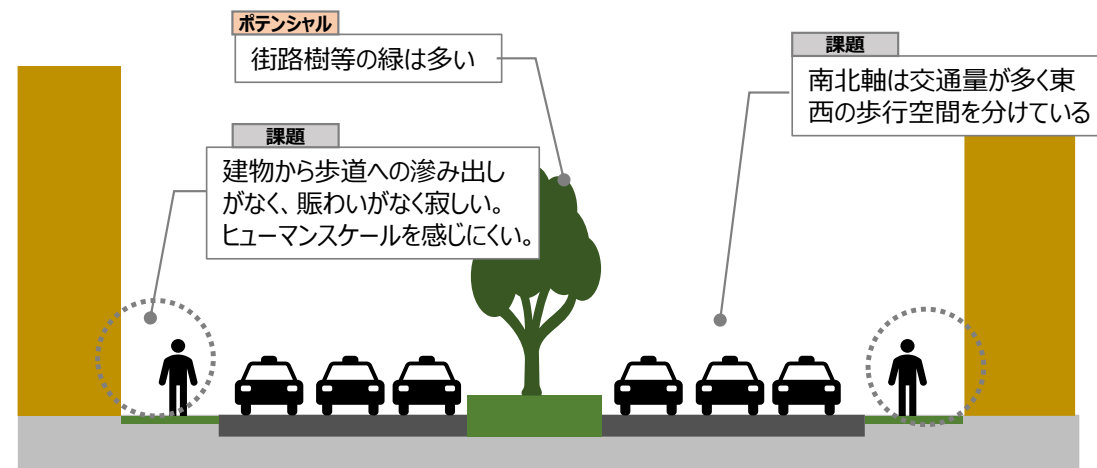
参考 大阪市中央公会堂周辺の歩行者空間化

- ・Dゾーンでは既に歩行者空間の拡大が行われている。



1. 重点施策（1）：歩行者ネットワークの形成

課題：ヒューマンスケールを感じにくい なにわ筋沿い



■ なにわ筋線新駅や周辺整備と連携しながら魅力あるヒューマンスケールの空間を整備し、中之島の西の拠点になる「顔」をつくる

取組アイデア



・各所のオープンスペースを快適で活気あるものとし、さらにそこと施設を繋ぐ動線を導入することで歩行者ネットワークを強化していく必要がある。

重点施策

【想定事業主体】公民連携 【想定整備時期】中期～（なにわ筋線開通時期を目途）
 【取組方法】⑤：道路整備、民間の施設開発整備や店舗導入時に実現化を目指す
 ⑥～⑧：なにわ筋線新駅や中之島4・5丁目の周辺開発と連携し実現を目指す

⑤ 一階のにぎわいづくり



なにわ筋沿いの新たな開発の足元に店舗を配置し、賑わいを連続させる

⑥ 広場へのアプローチ



イベントや社会実験が可能な可変性の高い広場を整備する

⑦ 文化施設へのアプローチ



アートを設置し、中之島全体で文化的な刺激を味わうことができるエリアとする

⑧ モビリティの接続



中之島や周辺の移動手段としてラストワンマイルを担う無人バスやスモールモビリティが走行する

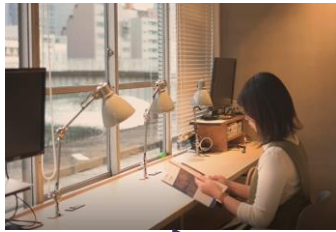
1. 重点施策(2)：水辺を生かした空間づくり

現状の課題：水辺に開けた建築が点在する一方で、地上レベルからは水辺を感じることもできるポイントが少ない

①水辺を生かした空間

- ・対岸を含めて、近年水辺を活かした建築物が増えてきている。

リバーサイドビルディング



中之島ラブセントラル



GARB WEEKS



こどもの本の森 中之島



R



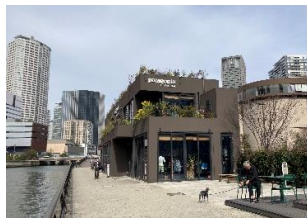
川の駅 はちけんや



北浜テラス



中之島BANKS

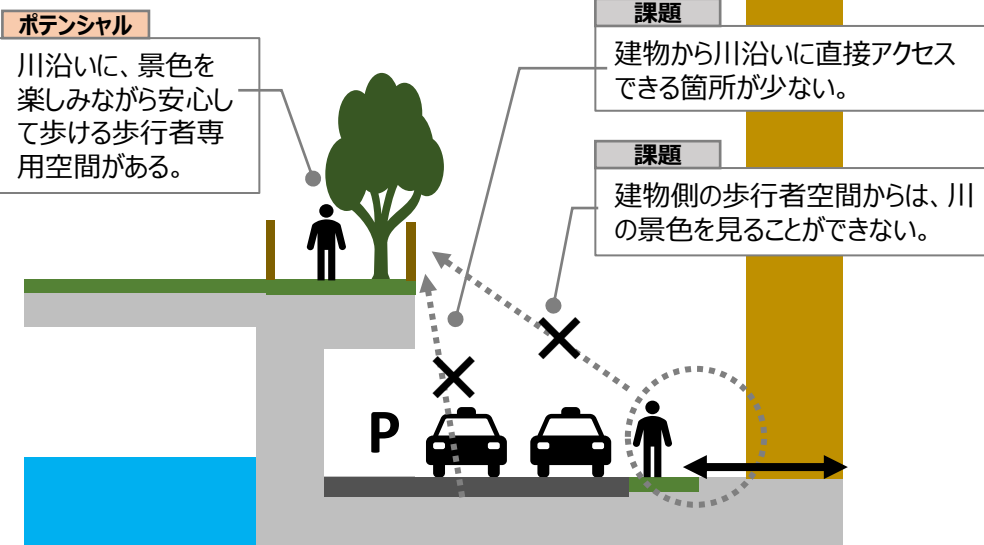


中之島GATE PARK



②GLから水辺を感じる事が難しい中之島

- ・中之島では、川との境界に、GLレベルより高い遊歩道が巡っている。
- ・景色を楽しみながら、安心して歩ける歩行者専用空間があることはポテンシャルである一方、GLレベルから川の景色を眺めることができない場所が多く、島らしさを感じる事が少ない。



③水辺の未活用地

- ・都市計画道路として、遊歩道を整備する計画があるが、未整備の箇所がある。



- 中之島の特色である水辺を対岸とも連携し、様々な形で活用する。
- 大阪の中心部を東西に横断するシンボル軸をより強化し、水辺の特性を生かした魅力ある空間を構築していく。

1. 重点施策（2）：水辺を生かした空間づくり

取組アイデア



対岸には水辺の魅力を感じることができる川沿いのテラス席（北浜テラス）がある

中之島全体

③水上建築

- ・船アクセスを考慮して河川の活用を行う。
- ・河川空間を利用した建築を行い、陸からだけでなく、船からアクセスし、楽しめる場所を生み出す。

重点施策

【想定事業主体】公民連携

【想定整備時期】中期～

【取組方法】特に万博時のアクセスと連携して積極的に整備を(暫定的にでも)進める

Bゾーン中心

①遊歩道の延伸

- ・遊歩道が分断され、未整備の地区が多い。
- ・未整備箇所を遊歩道として整備し、中之島エリア全体の川沿いをネットワーク化する。

重点施策

【想定事業主体】公共

【想定整備時期】短期～

【取組方法】現在推進中の整備計画、スケジュールに合わせて延伸を図る

②川沿いにテラス席を創出

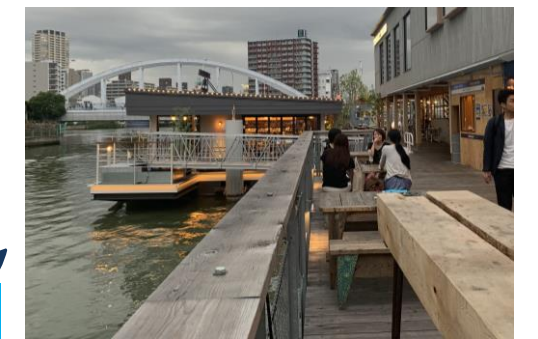
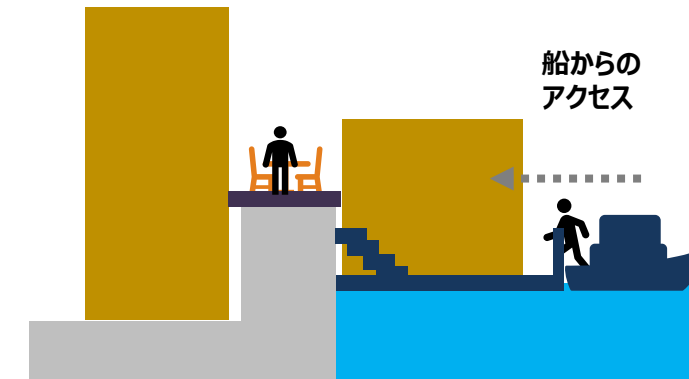
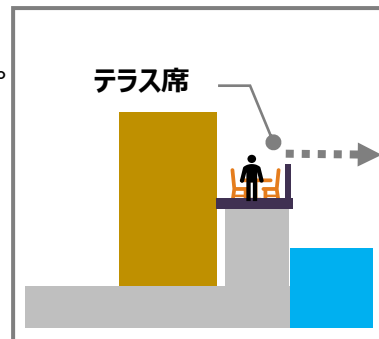
- ・中之島エリアで数少ない、河川に隣接し建物が立地できるエリアであるポテンシャルを活かし、河川にせり出したテラス席を創出する。
- ・中之島だけでなく、対岸も含めて、テラス席の創出を検討することで、中之島ならではの風景づくりを行う。

重点施策

【想定事業主体】公民連携

【想定整備時期】短期～

【取組方法】中之島や対岸での民間開発にあわせて公共の協力により実現化を行う



TUGBOAT TAISHO (大阪市大正区)

④川の眺望を生かした建築

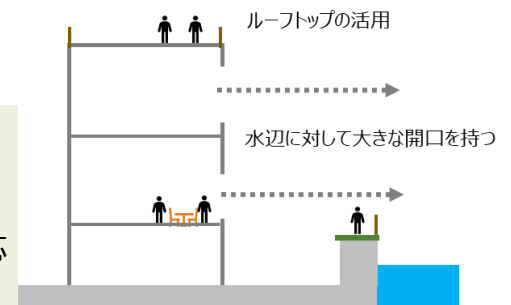
- ・魅力的な要素として河川の活用を各施設ごとに考えていく必要がある。
- ・川への眺望を意識した建物活用ルールを検討する。

重点施策

【想定事業主体】公民連携

【想定整備時期】中期～

【取組方法】民間の川沿いでの施設開発・整備に応じて公共協力のもと取り組みを進める



1. 重点施策（2）：水辺を生かした空間づくり

課題：大阪市の中でも景観形成の重要ポイントとして位置付けられている中之島

■ 中之島エリアは景観計画区域では重点届出区域（中之島地区）に指定されており、その方針等が示されている。

参考 重点届出区域（中之島地区）の景観形成方針※抜粋

〈中之島西部〉

水辺に囲まれた地域特性や周辺の建築物などとの調和に配慮し、建築物や構造物のデザインの工夫や敷地の緑化に努め、国際的な業務・文化・学術・交流の拠点にふさわしい、水・緑豊かな、風格とゆとりのあるまちなみを形成する。

〈中之島東部〉

水辺に面した建築物や構造物のデザインの工夫に努めることにより、水・緑や歴史的建築物・構造物など調和した、まとまりのある川沿いのまちなみを形成し、水の都大阪の歴史や伝統を受け継ぐ、風格ある都市景観を形成する。

〈その他〉

- ・ 建築物の低層部や敷地は、水辺の立地特性や周辺との調和に配慮したデザインなどを行い、水辺のまちの魅力を高めるまちなみを形成する。
- ・ 歴史的空間である東部と新しい都市活動の空間である西部をつなぐ、ゆったりと散策・回遊できる緑道や遊歩道の整備に努め、歴史や伝統と新しい都市の魅力にあふれた、水の都大阪のシンボルにふさわしい都市景観を形成する。

参考文献）大阪市景観計画(2020年3月変更)

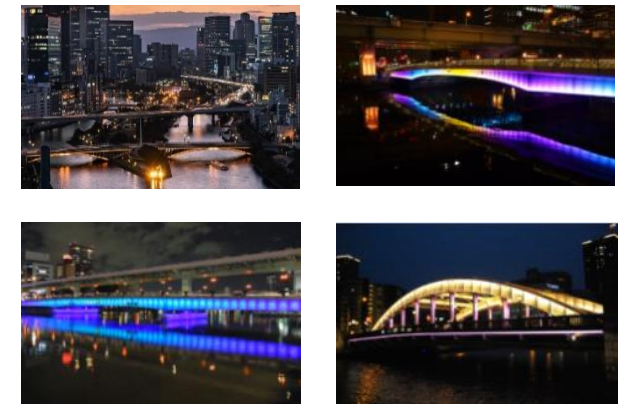
参考 中之島等の主要な視点場



参考文献）大阪市景観読本（Ver.3.0/令和4年3月）

● 橋梁・護岸のライトアップ

・ 中之島エリアの橋梁・護岸はライトアップが進んでいる。



● 公共施設・歴史的建築物のライトアップ



参考 中之島等のエリアの夜間景観の特性

〈昼間の景観 主要な視点場からみる、水辺のまちなみ〉

対岸や橋等の主要な視点場から水辺越しにみる沿川の建物群が水都大阪を印象づける景観を形成しています。また、水際や建物沿いに歩行者動線があるなど、人の身近な場所に水辺景観が面しています。

〈夜間の景観 水面に映る水辺のまちなみ〉

水辺越しに見られる沿川の建物の光や水際の光が、水辺に映し出されるのが特徴的な夜景です。夜間においても人の動きや界索性の感じるまちの光が見えてきます。水辺に面して見える建物や水辺の緑など、夜間景観の形成が必要です。

参考文献）大阪市景観読本（Ver.3.0/令和4年3月）

- 対岸とも連携し、中之島の特色である水辺を様々な形で積極的に活用する。
- 大阪の中心部を東西に横断する景観軸として、昼も夜もピクチャレスクな魅力ある景観を創出していく。

1. 重点施策（2）：水辺を生かした空間づくり

取組アイデア

⑤ 河川景観に配慮した景観

- ・昼夜問わず優れた景観を保っていく必要がある。
- ・川に囲まれた中之島では、陸からだけでなく、船などの河川を意識した景観形成を行う。

重点施策

【想定事業主体】公民連携 【想定整備時期】中期～長期
 【取組方法】 既にある景観形成基準を活用して、優れた景観づくりを目指す

参考 **中之島地区 河川景観配慮ゾーン** ※抜粋

〈景観形成基準〉

● 建築物の外壁

- ・対岸、橋上及び水上からの見え方を意識して、開口部やバルコニーなどを設けた表情のある形態意匠となるよう工夫する。
- ・堂島川や土佐堀川など舟運ルートが整備されている河川沿川の敷地では、沿川のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫するとともに、植栽などについても水辺と調和のとれたデザインとなるよう努める。

● 工作物の外観

- ・対岸、橋上及び水上からの見え方を意識した形態意匠となるよう工夫する。
- ・堂島川や土佐堀川など舟運ルートが整備されている河川沿川の敷地では、沿川のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫するとともに、植栽などについても水辺と調和のとれたデザインとなるよう努める。

参考文献) 大阪市景観計画(2020年3月変更)

⑥ スカイラインの形成

- ・対岸からの視点を意識した中之島の「島らしさ」を表現する大阪ならではのまちのシルエットを目指し、スカイライン形成のためのルールを定める。
- ・中之島西側においても、中之島西公園と一体の空間として活用しながら、島らしさを演出するシンボリックな景観づくりを進める。

【想定事業主体】公民連携 【想定整備時期】中期～長期
 【取組方法】 大規模な開発が行われる前に、何らかのルール作りを行い、優れた景観エリアを長期的に目指す

参考 **【スカイラインの形成】 みなとみらい21（横浜）**

みなとみらい21街づくり基本協定にて、まちづくりの基本的要素として「スカイライン・街並・ビスタ」を位置づけている。

〔みなとみらい21街づくり基本協定 一部引用〕

都市的骨格に沿って、超高層の建物を計画的に配置し街のランドマークを形成するとともに、全体的な基調として内陸から海へ向かって徐々に街並の高さが低くなるよう配慮する。

また、街の中からは、どこからも海や港が感じられるように、街の主要なビスタポイントから海に向かっての通景空間を設けるとともに、各建物の建て方の工夫によって、街の奥深くまで海が感じられるよう配慮する。



出典) みなとみらいエリアマネジメントHPより抜粋

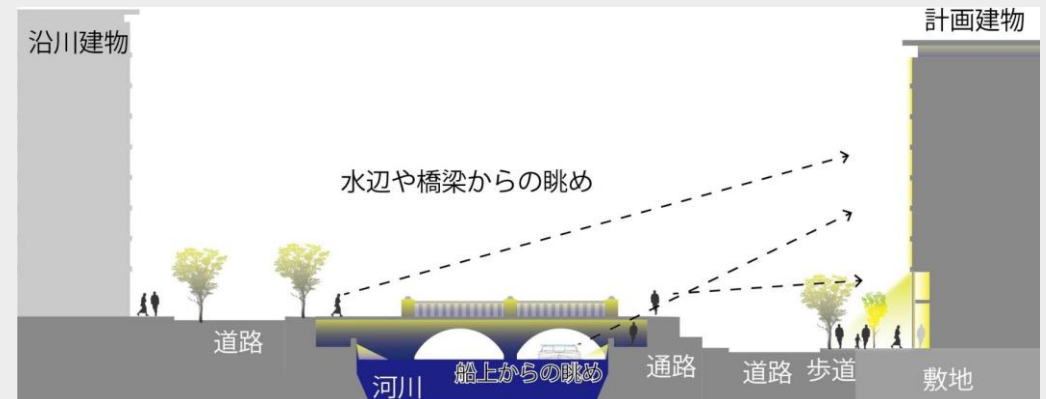
⑦ 夜間景観

- ・印象的な夜間景観を整備し、優れた景観を保っていく必要がある
- ・これまでの橋梁や護岸、公共施設や近代建築のライトアップの取組により、魅力的な夜間景観が形成されている。
- ・更に魅力的な水辺のあかりを創出し、水辺の印象的な顔づくりを行う。

【想定事業主体】公民連携 【想定整備時期】短期～
 【取組方法】 イベント時やインフラ等を含む整備・開発時にガイドラインを活用して、積極的に夜間景観を意識したライトアップに対応し、優れた水辺の夜間景観を拡大する

参考 **中之島エリアの夜間景観形成基準に関わる照明手法等** ※抜粋

- 沿川や沿道の利用者に対して配慮するとともに、水辺の美しさが伝わるように外観ファサードや歩道等に面する部分への照明演出を行いましょ。



- 低層部の開口部や漏れ光のあかりを歩行者が身近に感じる演出を行いましょ
- 水辺にあかりが映り込むように低層部のファサードをライトアップしましょ。



低層部のあかりを道路に向けて親近感を感じられるものとする例



間接光や漏れ光でパブリックな空間を照らす例



低層部のファサードをライトアップする例



象徴的意匠をライトアップして水辺に映す例

- 低層部のライトアップやもれ光をつなげていくことで水辺や通りの賑わいを演出しましょ。



低層部のファサードのライトアップを連続させた例 ※3



ファサードのライティングや低層部のもれ光で通りの賑わいを演出する例



護岸や樹木のライトアップによる水辺のライトアップの例 ※3



水辺の雁木をライトアップして、水際の空間を演出している例 ※3

参考文献) 大阪市景観読本 (Ver.3.0/令和4年3月) ※3 (写真提供) 大阪大学大学院非常勤講師 長町志穂

2. 重点施策(3)：アートを核とした都市活動の展開

課題：中之島エリアにおけるアート・ミュージアムなどの多くの文化施設・豊かなパブリックスペースをエリア全体の魅力創出に活かしてきていない

■ 中之島エリアには、ミュージアムなど多くの文化施設が集積している。



● アート等を展開できる可能性のあるオープンスペース

・中之島には、大阪市内でも有数の豊かなオープンスペースが点在している。

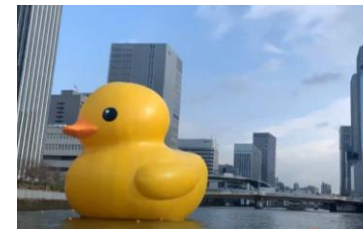
遊歩道



中之島公園



水上



歩行者専用空間



- 多彩な文化施設やオープンスペースをエリアの資源として再認識する。
- 中之島の特徴を多方面に発信できるコンテンツとし、魅力度を付加する。

2. 重点施策(3)：アートを核とした都市活動の展開

取組アイデア

中之島全体

① 公共空間×アートにより魅力を世界へ発信

- ・コンテンツ連携として空間とアートの相乗効果を得て、効果的で魅力的なツールとしていくべき。
- ・中之島の豊かなオープンスペース、歴史・文化とアートをかけ合わせることで、エリアの特性を生かした唯一無二の風景を創造し、中之島エリアの魅力を全世界に発信する。
- ・今後開発されるなにわ筋線・新駅から美術館へのアプローチにアート・文化を感じられる要素を埋め込み、中之島エリアに降り立った瞬間からアート・文化の要素を感じられるようにする。
- ・アートを展開することで、「誰もがやりたいことをチャレンジできる都市」であることを感じられるようにする。

【想定事業主体】公民学連携 【想定整備時期】短期～
 【取組方法】美術館や中之島の施設とタイアップしたアートイベントの積極的開発によりエリアブランドを構築する

参考 大阪カンヴァスによる中之島エリアでのアート展開

- ・大阪のまちをアーティストの発表の場「カンヴァス」に見立て、大阪の新たな都市魅力を創造・発信する「おおさかカンヴァス推進事業(2009～2016年)」では、中之島エリアを舞台に様々な公共空間×アートのコラボレーションを実施してきた。



参考 マイン川南岸・シャウマインカイ通り(ドイツ・フランクフルト)

- ・複数のミュージアムが集積し、散策できるエリアとなっている。
- ・水辺の空間も人々の憩いの空間となっている。



出典：Google

Dゾーン

② 文化施設×公園×水辺空間×道路空間の掛け合わせによる中之島にしかないパブリックスペースの創造

- ・広大なパブリックスペースを活気ある空間にし注目度を向上させる。
- ・公共空間におけるエリアマネジメントをスタートし、文化施設・公園・水辺空間・道路空間を一体的に活用して魅力を創出することで、中之島にしかないパブリックスペースを創造する。

【想定事業主体】公民連携 【想定整備時期】中期～
 【取組方法】現在の歩行者空間化を基に各施設と周囲空間を順次快適な空間に再整備する

Aゾーン

③ 中之島西公園の魅力化

- ・西の回遊動線の端部として中之島西公園の位置付けが重要である。
- ・中之島西エリアの魅力を高めていくため、インナーベイ・マーケット構想(後述)とも連動しながら、西公園及び周辺部の一体的な活用を進める。
- ・西の剣先には、シンボリックなモニュメント等を設置し、島の剣先らしさを高めていく。



重点施策

【想定事業主体】公共 【想定整備時期】中期～
 【取組方法】中之島6丁目の大型開発等の際、中央緑道整備と併せて連携し整備を行う

2. 重点施策（4）：クリエイティブティのネットワーク化

課題：多様な文化施設を有し、新規施設開業も控えている一方で、中之島全体、またテーマ横断的にエリアマネジメントを実施するハードルが高い

● 中之島公園

- 明治24年（1891年）、大阪市で初めて誕生した公園。
- 緑あふれる都心のオアシスで、川の流れと大阪市中央公会堂、府立中之島図書館などの重厚な建築物と一体となった美しい景観と豊かなアクティビティが魅力。

● 中之島通りの歩行者空間化

- 中之島通沿いに「こども本の森 中之島」が開業。
- 歩行者の増加が予測され、さらなる安全対策が求められることを踏まえ、歩行者空間化を実施。

● 公園だけでなく水辺空間や歩行者空間が一体で広がる特別なエリアに生まれ変わる



各エリアにおけるクリエイティブティのネットワーク化により、中之島全体のクオリティコントロールとエリアブランディングを図る

2. 重点施策(4)：クリエイティブ性のネットワーク化

取組アイデア

Bゾーン

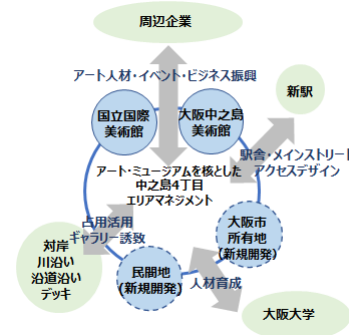
① 2つの美術館を中心としたアートエリア運営・空間デザイン検討

- ・中之島のコンテンツの1つであるアートをベースにした仕掛けが魅力向上に必要。
- ・美術館が集積している4丁目において、国立国際美術館と大阪中之島美術館を核とし、エリアマネジメントを展開。

【エリアマネジメントの考え方】

小規模エリアのマネジメントからはじめ全体へと繋げる

- ・中之島全体、またテーマ横断的にエリアマネジメントを同時に進めることはハードルが高く、まずは小さなエリアマネジメントからスタートしていくことが重要。
- ・一つの契機として、既にある文化施設の集積を生かし、まずは4丁目、1丁目と各エリアでアート・文化を核としたエリアマネジメントをスタートさせ、その後、小規模なエリアマネジメントを繋ぐことで、中之島全体のエリアマネジメントに繋げていくことを検討していく。



重点施策

【想定事業主体】公学 【想定整備時期】短期～

【取組方法】 大阪中之島美術館の整備を皮切りにアートをテーマにしたエリマネ活動やデザイン指針を構築する

② 新規開発にアート要素を組み込み 活動主体を増やしていく

- ・開発が予想されるエリアへの「アート」の展開でのエリアイメージの構築が望まれる。
- ・4,5丁目は、これから開発が進むエリアである。事業者公募の条件や開発の公共貢献メニューに「アート・文化」の要素などを入れ込むことで、エリアの特色づけを強化し、エリア内のプレイヤーを増やしていく。
- ・これらのプレイヤーと共に、ゆるやかなエリアマネジメントを目指していく。

【今後の取組可能性イメージ】

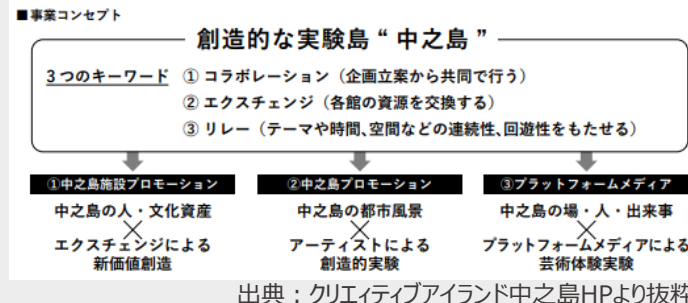
- 未来医療拠点：アートに関連した要素の組み入れ
- 民間所有地：公共貢献メニューの中にアートに関連する項目を設定
- 市所有地：活用参画条件の中にアート活動に係る条件を組み入れ

【想定事業主体】公民学連携 【想定整備時期】中期～

【取組方法】 民間開発等にあわせて、施設の足元やイベントにアートを取り入れる

参考 中之島全体のアート・文化施設をネットワークした取組「クリエイティブアイランド中之島」

- ・中之島に拠点をおく14の文化施設等が主体となったネットワーク。
- ・2021年から段階的に、中之島エリア全体をユニークベニューとして「創造的な研究所」に見立て、クリエイティブコンテンツを開発・創出する取組みが動きだしている。
- ・「世界中の人々が訪れ集うクリエイティブなまち中之島」を目指す。



Dゾーン

③ 大阪市中心公会堂周辺エリアの公共空間で文化施設を中心とした運営体制の構築

- ・単なる施設ではなく、連携した運営での魅力や賑わいの向上が必要。
- ・中之島1丁目エリアは、文化施設の集積に加え、公園、河川敷、道路等、広大な歩行者専用空間を有している。
- ・中之島通りの歩行者空間化を契機とし、文化施設を中心とした運営体制の構築を検討する。



(写真：朝日新聞社提供)



【想定事業主体】公共 【想定整備時期】中期～

【取組方法】 イベント等にて公共空間や文化施設を中心にマネジメントしてイベント運営を実施し、エリアの賑わい創出を継続する

中之島全体

④ 各エリア間クリエイティブ性の横ぐし連携 (教育・アート・MICE・公共空間・防災)

- ・各エリアがゆるやかに連携することで中之島のPRに繋げるべきである。
- ・今後、BゾーンやAゾーンを中心とした新規施設の開業や居住者の増加に伴い、各エリアの特性に応じたエリア運営を展開することが期待される。
- ・将来的に、各エリア間クリエイティブ性での連携を促進し、中之島エリアのプロモーションなど横断的な取組に結び付けることで、より効果的な動きを創出することを目指す。

【想定事業主体】公民連携 【想定整備時期】短期～

【取組方法】 大阪中之島美術館のオープンを皮切りに各団体が中之島プロモーションを実施する

3. 重点施策（5）：都市型MICE機能の強化

課題：大規模な国際会議場や宿泊施設が立地している強みを活かし、様々なMICEニーズに対応できる更なる魅力強化の取組みが必要である

●大規模な国際会議施設等

- ・大規模な会議場を有し、様々なタイプのMICEに対応できる。
- ・堂島リバーフォーラム、大阪市中央公会堂という1,000名を超える収容が可能な会議施設が存在する。
- ・充実した音響、照明、映像、同時通訳設備を備えた特別会議場や約2,800名収容可能なメインホールをもつ大阪国際会議場



国際会議やセミナー、展示会を開催できる会議場が存在（写真：国際会議場HPより）

●ホテル等の受入れ環境

- ・大規模な宴会場等を有する宿泊施設が存在し、長期にわたる国際会議の受入れ環境も整っている。



国際会議場と隣接するリーガロイヤルホテルとは、連絡通路で直結。機能補完が可能

（ポテンシャル）都市型MICE機能を強化する施設開業等

●水辺環境や美術館など独自の受入れ環境の存在

- ・国際的には、会議やレセプション開催時に、歴史的建造物や公的空間等で特別感や地域特性を演出できる会場「ユニークベニュー」を利用することが一般的。またMICE誘致に際し、「ユニークベニュー」が利用できることは、開催地決定の鍵とも言われている。
- ・中之島には、水辺環境や歴史的建造物、美術館・ミュージアムなどユニークベニューで活用できる可能性のある施設が点在している。

●未来医療国際拠点の開業(2024年春予定)

- ・再生医療をベースにゲノム医療や人工知能（AI）、IoTの活用等、今後の医療技術の進歩に即応した最先端の「未来医療」の産業化を推進するとともに、国内外の患者への「未来医療」の提供により、国際貢献を推進する拠点として未来医療国際拠点が開業を予定している。
- ・医療機関と企業、スタートアップ、支援機関等が一つ屋根の下に集積する全国初の拠点として、国際的な発信力に結び付く可能性を有している。

未来医療国際拠点など都市型MICE拠点としての機能強化に向け、新規開業施設と連携したハード・ソフト両面での受入体制の強化を行う。

取組アイデア

Bゾーン中心

①文化施設や水辺を活用したユニークベニュー

- ・MICEの魅力向上させ、誘致力の強化を図るべきである。
- ・文化施設や水辺空間を活用した中之島ならではのユニークベニューを創出し、国際会議誘致などのアピールポイントとする。

〔想定事業主体〕公民連携

〔想定整備時期〕短期～

〔取組方法〕中之島に点在する各施設が連携してユニークベニューを提供していく

②エリア内飲食店での受け入れ環境整備

- ・全ての来街者が安心して飲食できる仕組みが必要である。
- ・食の制限や食への主義がある人々も共に食を楽しめるために使用食材を示すフードピクトを導入する。

〔想定事業主体〕民間

〔想定整備時期〕短期～

〔取組方法〕フードピクトを整理し、関係する飲食店等と協力して実施する



Aゾーン中心

③中之島ゲートエリア魅力創造基本計画(2013年大阪府市魅力戦略推進会議)の実現（インナーベイ・マーケットリゾート）

- ・西公園が活かされていないことを改善する。
- ・大阪城から天保山・USJ、さらには夢洲をつなぐ東西軸と水の回廊が結節する中之島西エリアの拠点性をさらに高めていく。
- ・中之島地区内の水辺空間の活用や船着場との連携を進める。



〔想定事業主体〕公民連携

〔想定整備時期〕短期～

〔取組方法〕特に万博開催時に水上アクセス整備と併せて拠点を充実化させ、中之島エリアとの連携を図る

（想定される取組）

水辺の拠点づくり、大型船から小型船に乗り換え回廊するプログラム構築、水陸の楽しみ方提供、運営する主体づくり

3. 重点施策（6）：国内外におけるシティプロモーションの実施

課題：関西、大阪さらには中之島のブランド力が相対的に低く、「水都大阪のシンボルアイランド」としての魅力が国内外に十分に訴求できていない

●大阪府全体での位置づけ

・これらの環境を踏まえ、大阪府全体でも、学術系の「中規模MICE」の拠点と期待されている。

主要エリアの役割分担・機能強化の方向性

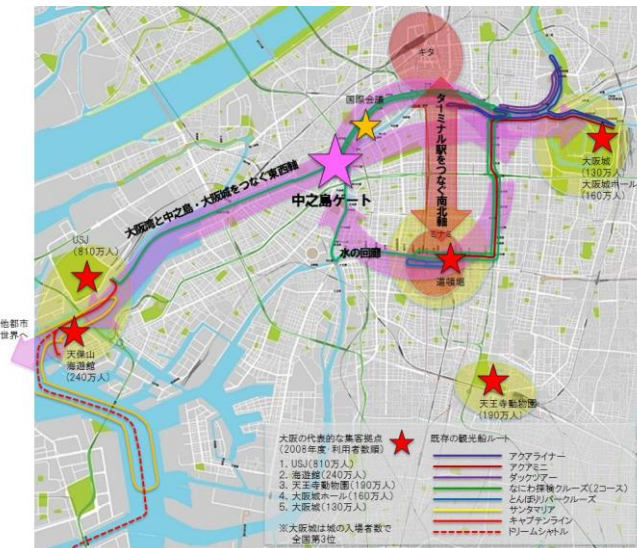
主要エリア	エリアの特徴	まちづくりの方向性	役割分担	機能強化
大阪駅	西日本随一のターミナル うめきた2期のまちづくりが進行中	国際競争力を有する都市 機能を高度に集積、国際競争に必要なイノベーション創出に取り組む	アクセスの良さを活かした 中小規模のMICEの実施	民間主導によるカンファ レンス・展示機能等の 充実
中之島	水都大阪のシンボルアイランド 大阪を代表する大阪府立 国際会議場が立地	歴史・文化と水辺の都市環境 を活かしたまちづくりを推進するとともに、国際的な業務・文化・学術・交流拠点の形成を図る	医学会等の学術系の 中規模MICEの実施	会議場・展示場一体 型MICE機能の検討
ベイエリア (咲洲・夢洲)	咲洲に大規模展示場（イン テックス大阪）が立地 夢洲では国際観光拠点形 成をめざす	夢洲の大規模用地を活用し、 大阪・関西のネットワーク拠 点となる国際観光拠点を形 成	これまで国内で開催さ れてこなかった世界規 模MICEの実施	夢洲に世界第一級の オールインワン型MICE 機能の整備

出典) 大阪におけるMICE推進戦略（平成29年大阪MICE推進委員会準備会）

(ポテンシャル) 広域からのアクセス改善

●海からのアクセス可能性

- ・中之島西部エリアは、海からの玄関口としてシンボリックな空間づくりを進める可能性を有している。
- ・大阪・関西万博やIR誘致等、夢洲エリアでの動きが加速する中、これと連動する水の回廊を意識した取組を進めることで、海と川とまちのネットワークが構築できる可能性がある。



出典) 「水と光のまちづくり構想アクションプラン」
(2012年 大阪府)

取組アイデア

中之島全体

④エリアサイン案内板の整備

- ・多様なインバウンドや障害者等に対してストレスフリーなエリアをアピールする。
- ・外国語表記を含む、シンプルで分かりやすいサイン・案内板を整備する。

重点施策

〔想定事業主体〕公民連携

〔想定整備時期〕短期～

〔取組方法〕 施設開発整備時にサイン板の設置を促進する

⑤外国人が長期滞在できる環境整備

- ・多様な滞在スタイルを提供することで来街のきっかけを増やしていく。
- ・サービスアパートメント・賃貸住宅等を整備する。

〔想定事業主体〕民間

〔想定整備時期〕中期～

〔取組方法〕 集合住宅整備の際にSA、賃貸住宅整備を検討する

⑥シティプロモーション

- ・各種ツールの活用により中之島を常時セールスし、来街のきっかけをつくる。

(1) プロモーション・ツールの整備

- HP・情報誌・パンフレット等の整備によるPR
- ・グローバル企業やハイエンド人材に中之島地域へ関心を持ってもらうためのHPや情報誌を作成しPR。
- ・展示会出展等の際に中之島地域の魅力を伝えるパンフレットを制作。
- 都市模型の制作
- ・中之島地域を紹介するためのコミュニケーションツールとして都市模型を制作。

(2) 国内外におけるシティプロモーションの展開

- 国内外の展示会等への出展
- ・国内外の展示会（MIPIM等）へ出展し、グローバル企業等の誘致に向けた中之島地域のシティプロモーションを実施。
- エリア発の国際的イベントの実施
- ・産官学が連携し、国内外の企業が参加する国際的な会議や文化交流イベントを実施。
- 中之島地域への企業誘致体制の整備
- ・中之島地域へ企業を誘致するため、関係施設・関係機関の連携を強化。

重点施策

〔想定事業主体〕公民連携

〔想定整備時期〕短期～

〔取組方法〕 各種媒体のPRツールを整備し、MICE、イベント等にてPR活動を実施する

「大阪におけるMICE推進方針」のなかで主催MICE拠点として位置づけられており、産学官関係者が連携し、シティセールスを国内外で展開する。

4. ビジネスと居住を支える都市インフラ整備

地域戦略：環境や安全・安心に配慮した持続的なまちの運営を実現

- 河川水を利用した地域冷暖房システムなど先進的な新・省エネルギー技術の導入や、帰宅困難者対策等の防災対策、エリアマネジメントを推進している。

中之島におけるまちづくり 「Smart Future Island Nakanoshima」(中之島まちみらい協議会)

「水都大阪のシンボルアイランド 環境先進都市 中之島」として、未来のまちづくりを推進

水に恵まれた中之島の未来につながるまちづくり

Smart Future Island NAKANOSHIMA

エネルギー

- 自然エネルギー**

中之島は海からの風が川をつたって通り抜ける。風の通り道となっており、まちを造り直せる風は自然美観に促され、省エネルギーに貢献しています。また、建物の屋上や壁などに太陽光発電パネルを設置し、自然エネルギーを積極的に活用。中長期的には太陽光発電を最大化するよう建物を設計し、期間を減らす努力をしています。
- CASBEE**

建築物総合性能評価システム(CASBEE)とは、建築物の環境性能を評価して5段階で格付けする手法のこと。省エネルギーや環境負荷の少ない建築材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や健康への配慮なども含めて総合的に評価します。そのCASBEEに基づき、大阪市の地域性を考慮した評価制度がCASBEE大阪版ありです。中之島にはCASBEE大阪版ありで高い評価を得たビルがいくつもあります。
- 雨水・再生水の利用**

雨水や再生水を積極的に利用して、エネルギーの無駄遣いを防いでいます。雨水のほか空調用や空調機の排水などを再利用して、トイレの洗浄水として利用することで、上水の消費量を削減させています。そのほか、貯めた雨水をガーデンへの散水などにも利用しています。
- エネルギー管理システム**

ビルエネルギー管理システム(BEMS)を導入し、ICT技術でビル全体の照明や空調などを制御しています。こうした最適なエネルギー管理に加え、各施設で夜間に熱を貯めておく必要時に熱を施設間でやり取りするなど、コミュニティエネルギー管理システム(CEMS)導入の可能性が広がります。
- 地域冷暖房システム**

熱供給設備(地域冷暖房プラント)から、一定地域内の各ビルにエネルギーを供給する「地域冷暖房システム(DHC)」を導入。省エネルギー性に加え、環境安全・安全性の向上に寄与しています。

河川水の熱利用

中之島は豊島川と土佐堀川に囲まれた地形を生かして河川水を利用し取り込み、冷温水・熱温水として利用することで、冷暖房などに活用。熱は冬場だけでなく、生態系に影響がない範囲で河川や下水へ排出されるため、ヒートアイランド現象の抑制も期待できます。

グリーンインフラ

大阪市の公営である中之島公園は、緑あふれる憩いのオアシスです。中之島には、その中之島公園をはじめ、日なたや中之島四季の広さ、豊かな緑がエリアが豊かになります。豊かな緑が環境的に豊かになることで、癒しの空間を創出するとともに、ヒートアイランド現象の抑制にも取り組んでいます。

スマートコミュニティ構想普及支援事業

今後の開発が進行される中之島の西側エリアでは、2013年に国のスマートコミュニティ構想普及支援事業に採択され、地域冷暖房システムをはじめとする、環境・防災等を兼ね備えたスマートコミュニティの実現に向けて取り組んでいます。さらに、2017年には地域の特色を活かした「エネルギー」の地域連携推進事業に採択され、エリアエネルギー管理システム構築マスタープランの策定も目指し、まちづくりを推進していきます。

モビリティ

観光スポットやホテルなどが点在する中之島には、ビジネスにも観光にも便利な中之島ループバス(ならび)が運行しています。さらに、中之島には使った物や人を運ぶが得意な船として江戸時代から使われていました。今では復元や復元を川から眺めるクルーズを運行し、まちの魅力を向上させています。

水と光の演出

水と光が交錯する場を積極的に作っている中之島には、川を眺めながら食事や文化を楽しむ施設が多くあります。冬の鳥居として多くの観光客が訪れるイルミネーション「OSAKAのルネサンス」をはじめ、橋や大阪中央公会堂のライトアップなど、光で夜を輝かしています。こうしたイベントを通して、街の印象や魅力が向上し、観光客も訪れる。中之島に大きな経済効果をもたらす。まちの価値向上に寄与しています。

防災

- エリア防災活動**

中之島を大阪の中心部でも最も安全安心なエリアとすることを目標に、2012年からエリア防災の取り組みを進めています。地域の事業者の防災意識向上を促すため、専門家による講演会や防災ワークショップなどを定期的に開催しています。また、防災に関する防災情報誌を発行することで、防災意識の向上を図っています。
- 防災インフラ**

ハザードマップから災害に強いまちづくりに取り組んでいます。橋が広く揺れに強い設計がなされる。また、避難所や避難所としての機能を果たすことで、水災発生時に被害を減らす。地震が起きた際の避難所や避難所の整備のほか、川を災害時の物資運搬ルートとして使うことも計画しています。

都市再生安全確保計画

大阪府都市再生安全確保計画(2016年)に基づき、計画に基づき、災害時の避難所としての機能を果たす。また、防災に関する防災情報誌を発行することで、防災意識の向上を図っています。

現状および今後の新たな動き

- 広域交通ネットワークの整備
- 新たな施設の整備・都市機能の拡充
- 新型コロナウイルスの経験
- SDGsへの対応やsociety5.0時代の到来
- 2050年カーボンニュートラル宣言の公表
- 2030年代半ば新車販売の100%電動車」目標

新たな社会 "Society 5.0"

Society 1.0 狩猟
Society 2.0 農耕
Society 3.0 工業
Society 4.0 情報
Society 5.0

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう
2 健全なエネルギー
3 持続可能な開発目標
4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなに
8 豊かになりつつも
9 産業と雇用を創出
10 人や国を超えて
11 持続可能な都市と地域づくり
12 持続可能な消費と生産
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさを守ろう
16 公正で包摂的な社会
17 パートナーシップで目標を達成しよう

■ グローバルな長期トレンドを見据えて、時代に即した形で都市インフラを向上させるとともに、今後増加が想定される居住者へのライフスタイル提案ができるような環境整備を目指す。

4. 重点施策（7）：ICTを活用したスマートアイランドの実現

課題：各種インフラの整備が進められているなかで、環境や安全・安心に配慮した持続的なまちの運営が求められている

<モビリティ>

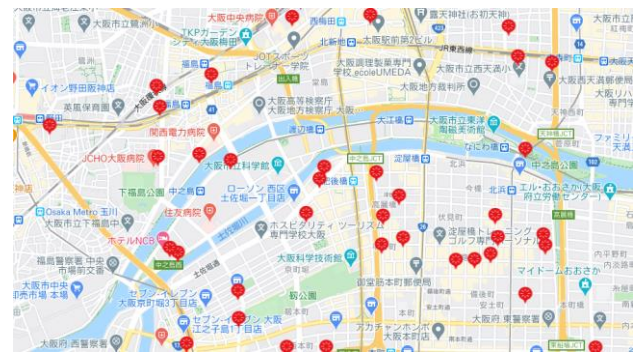
鉄道・バス

・中之島エリア内外を南北、東西に結ぶ鉄道・バスネットワークが整備されている。



シェアサイクル

・中之島エリア・対岸エリアでシェアサイクルの導入が徐々に進んでいる。



リバークルーズ

・中之島西エリアの美しい景色をリムジンボートで楽しむ中之島リバークルーズが運航されている。



<エネルギー・環境>

■ 河川水を利用した地域冷暖房システム等の先進的な新・省エネルギー技術の導入を推進

2013年度

「中之島4・5丁目地域における下水熱・河川水熱利用地域冷暖房システムによるスマートコミュニティ構築事業」

環境性能と防災機能を兼ね備えたスマートコミュニティ構築を目指しての地域熱供給システム導入検討

2015年度

特定都市再生緊急整備地域に中之島地域を指定

地域戦略・整備計画において、「環境や安全・安心に配慮した持続的なまちの運営をめざし、河川水を利用した地域冷暖房システム等の先進的な新・省エネルギー技術の導入や、帰宅困難者対策等の防災対策、エリアマネジメントを推進する」方針を明記

2017年度

「中之島3・4丁目地域熱供給プラントのネットワーク化及び未利用エネルギー活用によるエリアエネルギーマネジメントシステム構築事業」

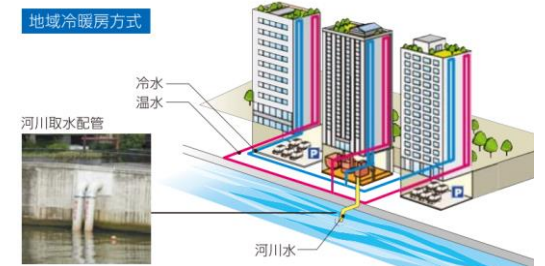
地域熱供給プラントのネットワーク化及び未利用エネルギー有効活用により、エリア全体の環境性・レジリエンス性の向上を目指し、地域全体のマスタープランやシステム・事業スキーム等を検討

2020年度

「中之島2丁目における河川水熱と温度成層型水蓄熱槽を用いた高効率地域冷暖房」が、2020年度省エネルギー大賞「省エネルギーセンター会長賞」受賞

中之島3丁目地域冷暖房の経験を活かし、2丁目地域冷暖房にて、国内最高レベルの効率を実現

河川水を利用した地域冷暖房システム



今後求められるもの

<モビリティ>

- 快適な島内移動（回遊）を可能とする脱炭素型交通システムの導入
- ICTを活用した島内外最適運用（シームレスな連携・移動、混雑回避、ピークシフト他）

<エネルギー・環境>

- クリーンエネルギーの利用やエネルギー効率の向上による脱炭素社会の実現
- エネルギーマネジメントの高度化による災害時も含めたエネルギーの安定供給の実現

■ 既存の各種インフラに、ICTを活用した最先端技術を導入することで、都市インフラを向上させ、モデルケースとなりうるスマートアイランドを実現していく。

4. 重点施策（7）：ICTを活用したスマートアイランドの実現

取組アイデア

①モビリティ

■ 陸・海・空の多様で環境性の高いモビリティが、中之島内外をシームレスに連携し、快適な移動（回遊）を実現する。

〔想定事業主体〕公民連携

〔想定整備時期〕中期～（各モビリティの実現にあわせて実証実験など）

〔取組方法〕 島内を中心とした各種実証実験を積極的に実施し、効果あるモビリティの活用を推進する

マネジメント

充電ステーション・水素ステーション

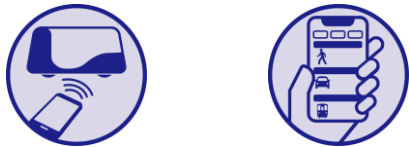
モビリティに合わせた最適な充電・充填システム、エネルギーマネジメントシステムの導入



MaaS

自動運転・オンデマンド

最適化されたアクセス手段の提供と、運行管理位置情報、利用状況データによる最適な運用



水上のモビリティ

(EV船/自動運転/ワイヤレス充電)



陸上のモビリティ

(EV・FCV/自動運転/ワイヤレス充電)



上空のモビリティ

(ドローンステーション/EV/自動運転)



ICTを活用したモビリティのマネジメント
(MaaS、自動運転・オンデマンド、充電・水素ステーション)

既存のモビリティ
(鉄道/自動車/バス/船)

多様なモビリティが島内外をシームレスに連携するイメージ

空 のモビリティ (EV/自動運転)

- ・空飛ぶタクシーの導入
- ・ダイレクトアクセスサービス

海

のモビリティ (EV船/自動運転/ワイヤレス充電)

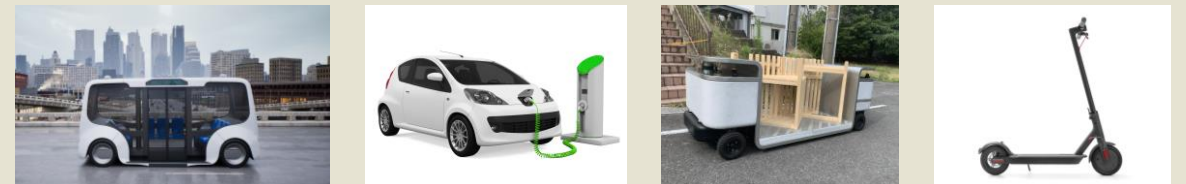
- ・2つの川に囲まれた中之島の特性を活かし、観光客、滞在者のスムーズな移動をサポート。
- ・利便性向上に加えて、環境、BCPにも寄与。



陸

モビリティ (EV・FCV (バス・車・バイク) /自動運転/ワイヤレス充電)

- ・EV・FCV車運行・シェアリングによる低炭素社会への貢献だけでなく、災害時には動く蓄電池としてBCPにも寄与。
- ・歩行者と共生する低速モビリティ等でエリアの価値を高める。



4. 重点施策（7）：ICTを活用したスマートアイランドの実現

取組アイデア

②エネルギー・環境

■ 多様なエネルギーのネットワーク化、マネジメント高度化により脱炭素・持続可能なまちづくりを推進する。

〔想定事業主体〕公民連携 〔想定整備時期〕中期～（各技術の実現と施設整備の時期に応じて） 〔取組方法〕整備開発にて採用を促進する

BEMS
HEMS
MEMS

ICTを活用したエネルギーマネジメント

CEMS
AEMS

創 再生可能エネルギーにより、エネルギーを「創」る

太陽光・風力発電・水素 など

蓄 エネルギーを「蓄」え、ピークカットや非常時電源として利活用する

蓄電池・V2X・蓄熱槽
非常用発電機 など

省 効率的使用により、「省」エネルギー化を図る、未利用エネルギーを活用する

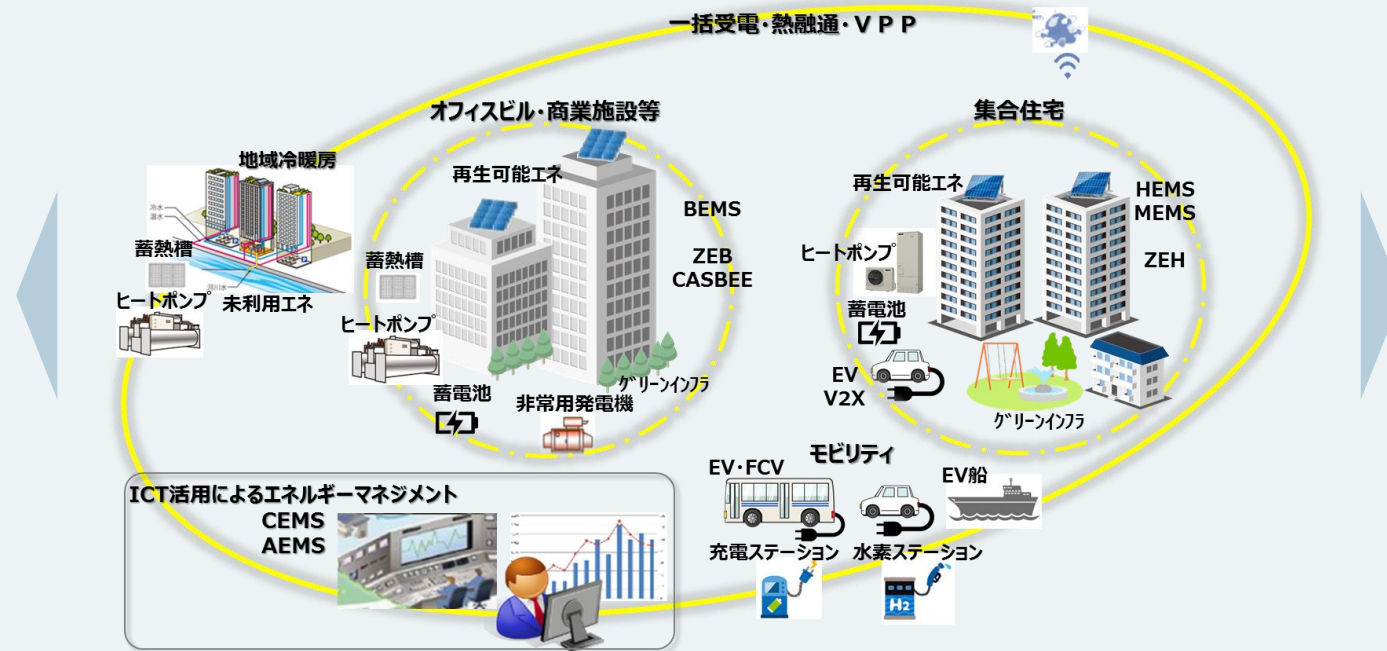
高効率ヒートポンプ、ZEB・ZEH、
河川水・地下水熱・地中熱利用 等

建築単体から街区、エリア単位に波及

エネルギー（電気・熱）の面的利用・ネットワーク化

ICTを活用したエネルギーマネジメントシステムにより、エリア全体をネットワーク化

エネルギー源の最適運用で、環境性、経済性だけでなく、災害にも強いまちへ



他分野との情報連携で、サステナブルなまちへ

ICTを活用したエネルギーマネジメント高度化・ネットワーク化

4. 重点施策（8）：エリアコミュニティの醸成

課題：6丁目を中心に住民が増加するなかで、スムーズな情報共有や地域活動に関わることのできる仕組みづくりが求められている

- ・平成28年に都市再生安全確保計画が策定される。
- ・中之島地域の防災関連施設として、広域避難場所（中之島地域全体）、災害時避難所（市立科学館）、津波避難ビル（国立国際美術館アッパープラザ）、防災船着場（1か所）を設置し、地域内の南北方向の主要幹線道路等が緊急交通路・避難路に指定される。

（企業・不動産オーナー）

- ・当計画を契機に、中之島まちみらい協議会 会員企業によるエリア防災体制づくりを進行している。

（居住者）

- ・中之島4,6丁目を中心に居住者が増えており、また、2024年春に小中一貫校が開校する予定である。今後住民の防災意識、コミュニティ形成意欲の高まりが想定される。

※ 2020年、中之島連合振興町会による防災勉強会を実施予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止



都市再生安全確保施設（都市再生安全確保計画より）

小中一貫校の開校予定



校舎完成予想図（南西方面から）



予定校区

計画概要	<ul style="list-style-type: none"> ・開校予定：2024年度 ・大阪市内中心部における児童・生徒の急増に伴う課題への対応策として、今後も児童・生徒の増加が見込まれる中之島西部地域において、令和6（2024）年度の開校をめざして新たに小中一貫校を設置 ・建設予定地：中之島6丁目 ・予定通学区域 <ul style="list-style-type: none"> 中之島1丁目～6丁目 堂島1丁目～3丁目 堂島浜1丁目～2丁目 曾根崎新地1丁目～2丁目 ・総学級数：27学級 <ul style="list-style-type: none"> （小学校各3学級＝18学級・中学校各3学級＝9学級） ※「（仮称）中之島西部小・中一貫校舎整備事業」（地域北区教育委員会事務局施設整備課）（令和元年9月）より
施設特徴	各教室のほか、体育館、屋内・屋上運動場、屋上プール等を一体化した校舎と屋外運動場（校庭）を予定。

出典）北区役所HPより抜粋

今後求められるもの

<エリア防災>

- ❑ 事業者・行政・住民のスムーズな情報共有・相互支援を実現する体制の構築
- ❑ 災害時も安心、安全に過ごすことができる環境の整備
- ❑ 新型コロナウイルスや新たな感染症などに対応する避難スペースや防災の在り方の検討

<コミュニティ>

- ❑ 中之島全体のにぎわいづくりとエリアブランディング
- ❑ 住民がまちに関われる仕組みづくり

企業間だけでなく、災害に対する体制構築や住民と企業、あるいは住民相互のコミュニケーションの醸成を図り、結束力のあるコミュニティを構築し、災害時等の自助、公助体制の基礎をつくる。

4. 重点施策（8）：エリアコミュニティの醸成

取組アイデア

①「都市再生安全確保計画」におけるハード・ソフト対策を通じたエリア防災活動と帰宅困難者対策 (a)災害時掲示板の立ち上げ

- ・災害対策の機運の高まりを受けて、連携等が期待されている。
- ・平成28年に策定された「都市再生安全確保計画」を契機に、中之島まちみらい協議会会員企業によりエリア防災体制づくりが進められている。
- ・具体的には、会員企業間の情報伝達体制を構築する方法について、毎年図上訓練を実施しており、災害時掲示板の立ち上げを目指す。



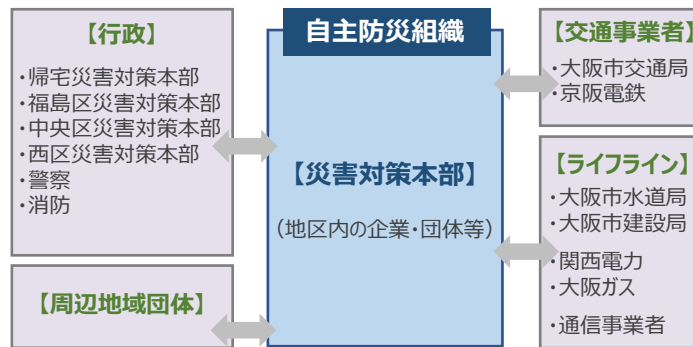
図上訓練の様子 災害時掲示板（テスト版）

重点施策

【想定事業主体】公民（エリマネ）連携 【想定整備時期】短期～（現在取組中）
【取組方法】 現在、安全確保計画補助金を活用して作成中

(b)自主防災組織（共助組織）の組成

- ・災害発生から交通機能及び都市機能回復までの応急対応活動を地域で担う組織として、地域内の企業や団体を中心とした自主防災組織（共助組織）の組成をめざす。



災害発生時の応急活動組織イメージ
（「都市再生安全確保計画」を基に作成）

重点施策

【想定事業主体】公民（エリマネ）連携
【想定整備時期】中期～
【取組方法】 災害時掲示板の実際の運用と併せて、自主防災組織等の組成を促す。

(c)BCD構築とBCPとの連携

BCD（Business Continuity District：事業継続基盤整備地区）
BCP（Business Continuity Plan：事業継続計画）

- ・河川水熱利用による地域冷暖房をはじめ、エネルギーの面的利用を推進することで、災害に強い安全・安心なまち「BCD」を構築し、まちの価値向上を目指す。
- ・地域内の企業・団体等が策定する「BCP」と連携した取組みについても検討する。

【想定事業主体】公民連携 【想定整備時期】中期～
【取組方法】 各種施設整備時へのハード・ソフト対応を促進する

(d)防災インフラの構築

- ・ハード面からも災害に強いまちづくりに取り組む。
- ・幅が広く破綻の恐れがないスーパー堤防の整備、護岸や橋の補強を行うことで、水辺環境を美しく保ちながら地震などによる水害を防止する。
- ・災害時の退避施設や備蓄倉庫の整備のほか、川を災害時の物資運搬ルートとして使用する。

【想定事業主体】公民連携 【想定整備時期】中期～
【取組方法】 公共によるインフラ整備の実施と民間等による備蓄倉庫の整備を随時行う

②連合振興町会との連携

- ・4,6丁目を中心に中之島の住民者が増えており、住民の防災への意識が高まっている。
- ・災害時にスムーズに連携が取れるように、日頃から企業や行政、連合振興町会の連携を強化する。

重点施策

【想定事業主体】公民（エリマネ）連携
【想定整備時期】短期～
【取組方法】 連合振興町会との連携体制を確立



③今後の避難スペースや防災の検討

- ・コロナ禍の中で、災害時の避難スペース・備蓄品等の在り方、対応が課題となっている。
- ・今後の新たな感染症も想定し、企業や行政、連合振興町会との連携を行う。

重点施策

【想定事業主体】公民連携
【想定整備時期】中期～
【取組方法】 ①(a)災害時掲示板の実際の運用
①(b)の自主防災組織の素性と併せて連携を強化する



新型コロナ禍版のガイドライン
（大阪市 令和2年5月作成）

参考 ICTの利活用による防災と減災

- ドローンを活用した災害時の情報収集および滞留者誘導のためのサイネージ等を活用した情報発信



- カメラ・センサーを活用した災害時の異常混雑・滞留状況の把握（群衆行動解析技術等）



4. 重点施策（8）：エリアコミュニティの醸成

取組アイデア

④ 多様なイベントによるにぎわいづくり

- ・現在、中之島は多くの団体が様々なイベントを実施しており、にぎわいづくりに取り組んでいることをさらに推進し、街の活性化に繋げていく。
- ・今後も多様な都市活動の実践でまちに活気を生み出していくとともに、横のつながりを強化し、コミュニティを育てていく。

重点施策

〔想定事業主体〕公民連携 〔想定整備時期〕短期～
 〔取組方法〕 現在の各種イベントを推進していく



大阪・光の饗宴（大阪・光の饗宴実行委員会）



中之島なつまつり（中之島なつまつり実行委員会）



打ち水（中之島ウエスト・エリアプロモーション連絡会）



スタンドアップパドルの世界大会



はちけんや体操
 (『八軒家浜水辺の賑わい創出事業事務局』)



ミュージッククルーズ（大阪水上バス）



こたつサップ
 (日本シティサップ協会)

⑤ プロモーション活動

- ・PRツールとしてwebによる情報発信等を継続していく。
- ・中之島まちみらい協議会で運営しているHP「中之島スタイル.com」を中心に様々な情報を発信し、エリアプロモーションを図る。

重点施策

〔想定事業主体〕民間（エリマネ）
 〔想定整備時期〕短期～
 〔取組方法〕 中之島スタイルをはじめ各種媒体でのPR活動を継続する



中之島スタイルHP
 (中之島まちみらい協議会)

⑥ 他エリア・他団体との連携

- ・各所での取り組みで中之島に活かせることを検討していく。
- ・御堂筋まちづくりネットワークや梅田地区エリアマネジメント実践連絡会など大阪で活動するエリマネ団体、さらには全国の団体と連携し、中之島にさらなる活力とにぎわいを生み出す。



全国エリアマネジメントネットワーク シンポジウム

重点施策

〔想定事業主体〕公民（エリマネ）連携
 〔想定整備時期〕短期～
 〔取組方法〕 エリマネ団体間の連携にて情報交換を行い、中之島活性化のヒントを得る

⑦ 教育を通じたまちと住民の連携

- ・中之島の児童、生徒を地域で育てる必要がある。
- ・2024年春開校の小中一貫校と地域コミュニティが連携して活動し、地域の次世代の担い手を育てる。
- ・学校と企業の連携を図り、企業見学や職場体験など様々なプログラムを展開する。



重点施策

〔想定事業主体〕公民（エリマネ）連携
 〔想定整備時期〕短期～
 〔取組方法〕小中一貫校開校以降、連携して協力体制を構築する

第4章

ロードマップ

ロードマップ

	短期(2021-2024)	中期(2025-2030)	長期(2031-)		
新規施設等の動き	● 2022年2月 大阪中之島美術館開館	● 2023年 大阪大学 中之島センター改修	● 2024年春 小中一貫校開校 未来医療国際拠点開業	● 2025年 大阪・関西万博開催	● 2031年春 なにわ筋新線開通 新駅及び周辺整備
【目標1】 まちと水辺の 界索性創出 [KPI] 歩行空間面 中央緑道達成率	先行的な歩行者ネットワークの整備 中長期の取組に向けた検討 基礎調査・社会実験・ビジョン更新 (公)交通シナリオ・バックデータ調査 (民)活用社会実験 マネジメントテーマ検討 (公)交通規制検討 (公民)未利用地活用プラン (公民)景観・グランドレベル活用・水辺活用等のルール検討・合意、意識醸成	歩行空間化や水辺を生かした空間の整備 新駅周辺整備 歩行空間化パイロットプロジェクト (公)未活用地インフラ整備(民)施設整備・運営 エリア価値を高めるルール形成・意識醸成 (公民)周辺活用やモビリティ含めたプラン (公民)駅周辺整備、未利用地の開発・整備 美術館等へのアプローチ整備	中之島全体での歩行者ネットワーク構築 エリア価値を高めるルールの運用 中央緑道沿いへの継続投資 (公民)長期ビジョン共有 新規開発や更新投資等の度に徐々に変化 (景観等のルール運用とも一体) ルール運用 「島」らしさを育てる取組 中之島線の延伸		
【目標2】 クリエイティブの 共創による エリア活性化 [KPI] エリア運営プログラム数	中核施設を核としたエリア運営の検討 小さなエリア運営 (民)中核施設等を核としたエリア運営 (公共空間活用、企業連携、イベント実施等) ・美術館開業を契機としたアートを活用したエリアマネジメント ・大阪市中央公会堂周辺歩行者空間の利活用	新たな開発との連携を促進するエリア運営の制度化 マネジメントルールの制度化 (公民)空間マネジメント ・新規投資へのアート要素盛り込み ・民間主体での公共空間マネジメント	各エリアにおけるクリエイティブの ネットワーク化による中之島エリアブランディング マネジメント主体相互の連携 ルール運用 (民)各エリアにおけるクリエイティブのネットワーク化による クオリティコントロールとエリアブランディング ・公民でのアート要素しみ出し ・公共空間活用 ・エリアプロモーション		
【目標3】 グローバル視点 での魅力強化 [KPI] 国際会議開催数 新規グローバル 企業立地数	都市型MICE機能の強化 万博・IR見据えた海の回廊強化 (公)広域での検討・プラン化 中之島GATE一体での検討 (民)主体づくり 都市型MICE機能強化 (民)ユニークベニュー等地域魅力を生かすプログラム (公)案内板等の整備検討	大阪・関西万博開催や未来医療国際拠点開業を 契機とした国際的魅力的強化 東西での交通ネットワーク検討 (公)インフラ整備、西の剣先シンボル化 (民)施設整備、市場等との連携、観光プログラム 未来医療国際拠点との連携 (公民)医療系MICE拠点への産学官連携	中之島の魅力の国際的な位置づけ向上 海の回廊と陸のネットワークの結節 医療系中規模MICE拠点の国際的地位 (公民)継続的なシティプロモーション		
【目標4】 ビジネスと居住を 支えるインフラ整備 [KPI] 路線価 新規企業立地数 居住エリアとしての評価	都市インフラ整備に向けた体制強化 各テーマの実装可能性検討 (万博見据え) (公民)導入可能性調査、関係者合意形成 防災等をテーマにしたスムーズな情報共有体制 (民)継続的な場づくり	ICTを活用した最先端技術の導入により 持続的なまちづくりを推進 社会実装 (公民)実証事業、投資呼び込み、社会実装 小中一貫校はじめ地域教育機関との連携 (民)小中一貫校をハブとつつ地域・企業との連携促進 エリア運営主体とコミュニティとの結びつき促進	スマートアイランドの実現 エリアイメージ向上に向けたPR 東西ネットワーク、対岸との回遊を促進するモビリティ導入		